
令和6年度 ネットやスマホのなやみを解決 こたエール

年次報告



令和7年3月

1. 報告概略

- (1) 用語の解説: 相談者の区分
- (2) 用語の解説: 相談内容の区分

2. 受付方法

- (1)-1 当事者別
- (1)-2 青少年にかかる相談、相談者別
- (2) 相談内容別(5年度との比較)

3. 相談者

- (1) 青少年にかかる相談(5年度との比較)

4. 相談件数

- (1) 当事者別月別推移(5年度との比較)
- (2) 当事者別(5年度との比較)
- (3) 青少年にかかる相談／性別(5年度との比較)
- (4) 青少年にかかる相談／学年別(5年度との比較)
- (5) 学校別・相談者別(5年度との比較)
- (6) 相談内容別・青少年(詳細件数)

5. 使用端末

- (1) 相談対象となった使用端末
- (2) 相談対象となった使用端末別・内容項目
- (3) 学職別使用端末

6. 相談内容

- (1) 全体(5年度との比較)
- (2) 青少年にかかる相談
 - (ア) 全体
 - (イ) 保護者からの相談
 - (ウ) 青少年本人からの相談
- (3) 青少年以外からの相談
- (4) 小学生に係る相談・相談者別
- (5) 小学生(5年度との比較)
- (6) 小学生1年生～3年生/4年生～6年生
- (7) 中学生にかかる相談・相談者別
- (8) 中学生(5年度との比較)
- (9) 高校生にかかる相談・相談者別
- (10) 高校生(5年度との比較)

7. 主な相談の概要

- (1) ネット上の書き込みトラブル(ネットいじめ、削除方法)
 - (ア) 青少年にかかる相談・内容別(5年度との比較)
 - (イ) 青少年にかかる相談・相談者の加害者・被害者別(5年度との比較)
 - (ウ) 青少年にかかる相談・書き込み内容別(5年度との比較)

(2) 性的トラブル

- (ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(5年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(5年度との比較)
- (ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(5年度との比較)
- (エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(5年度との比較)

(3) 依存

- (ア) 青少年にかかる相談・相談者別(5年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・依存している端末別(5年度との比較)

(4) 交友関係

- (ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(5年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(5年度との比較)
- (ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(5年度との比較)
- (エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(5年度との比較)

(5) 料金関係

- (ア) 青少年にかかる相談・相談者別(5年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・課金をしているサービス
- (ウ) 青少年にかかる相談・課金額別件数(5年度との比較)

(6) 架空請求

- (ア) 青少年にかかる相談・学職別/相談者別(5年度との比較)
- (イ) 青少年にかかる相談・請求金額別件数(5年度との比較)

(7) 自画撮り被害

- (ア) 青少年にかかる相談・相談者別、男女別件数
- (イ) 青少年にかかる相談・相談内容
- (ウ) 青少年にかかる相談・トラブルの相手

(8) パパ活トラブル

- (ア) 相談者別、男女件数
- (イ) トラブルの内容

8. フィルタリング

- (1) 青少年にかかる相談・利用状況(5年度との比較)
- (2) 青少年にかかる相談・内容別(5年度との比較)
- (3) 青少年にかかる相談・内容別/携帯電話等
- (4) 青少年にかかる相談・内容別/PC等
- (5) 青少年にかかる相談・防げたか

9. 考察

- (1)-1 件数の多い相談の考察
- (1)-2 件数の多い相談の考察
- (2) 青少年の学職別の考察

1. 報告概略

(1) 用語の解説: 相談者の区分

青少年	18歳(高校3年生)までの児童、生徒、未就学児
保護者等親族	青少年の保護者、家族、兄弟
学校関係者	青少年の通学先職員
職場関係者	青少年の勤務先職員、青少年関連の職場職員
その他	青少年の友人、知人
青少年以外	18歳以上の成人(年齢・学齢が不明の相談者も含む)

- 「青少年にかかる相談」とは、トラブルの当事者が「青少年」である相談。青少年本人、保護者等親族、学校関係者、職場関係者、その他からの相談が含まれる。
- 「青少年以外にかかる相談」とは、トラブルの当事者が青少年ではない相談。

1. 報告概略

(2) 用語の解説: 相談内容の区分

■ 「こたエール」では、受け付けた相談内容を以下の18項目に分類している。

項目	例	項目	例
架空請求	<ul style="list-style-type: none"> クリックしたらいきなり登録完了となって、料金の請求をされた 	削除方法	<ul style="list-style-type: none"> 自分が映っている動画が勝手に投稿されているので削除してほしい
ショッピング	<ul style="list-style-type: none"> 購入した商品が届かない、ブランド品を購入したのに偽物が送られてきた 	料金関係	<ul style="list-style-type: none"> 子供が勝手にゲームで課金をしていたので取り消してほしい
ネットいじめ	<ul style="list-style-type: none"> SNSのグループから自分だけ外された インターネット上に悪口を書かれている 	フィルタリング関係	<ul style="list-style-type: none"> フィルタリングとは何か 子供に初めてスマートフォンを持たせるときのルール作り
迷惑メール	<ul style="list-style-type: none"> 登録した覚えのないサイトからメールが届く チェーンメールが届く 	取引トラブル	<ul style="list-style-type: none"> フリマアプリ、オークションで落札した商品が届かない、違うものが届いた
有害情報	<ul style="list-style-type: none"> 占いサイトだと思っていたが出会い系サイトだった 	情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス感染、フィッシング詐欺、不正アクセスなどの被害や対処法
著作権関連	<ul style="list-style-type: none"> 自分が作った画像が勝手に使われている 	個人情報関連	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報漏れ、個人情報悪用などの被害や対処法
依存	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンを手放せず、ゲームにのめり込んでいる 	その他	<ul style="list-style-type: none"> インターネットトラブルのうち、既定の区分に当てはまらないもの
交友関係	<ul style="list-style-type: none"> ネット上で知らない人と出会ったことで心配事が起きた 	対象外	<ul style="list-style-type: none"> インターネットとは無関係な相談 パソコン、スマートフォンの使い方 固有のサービスの利用方法
性的トラブル	<ul style="list-style-type: none"> 裸や下着姿の自画撮りを要求された、要求した、送信した、送信させた 	意味不明	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容が不明なもの

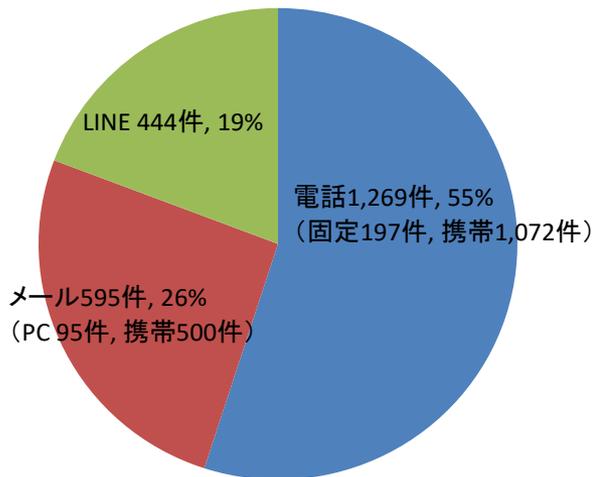
2. 受付方法

(1)-1. 当事者別

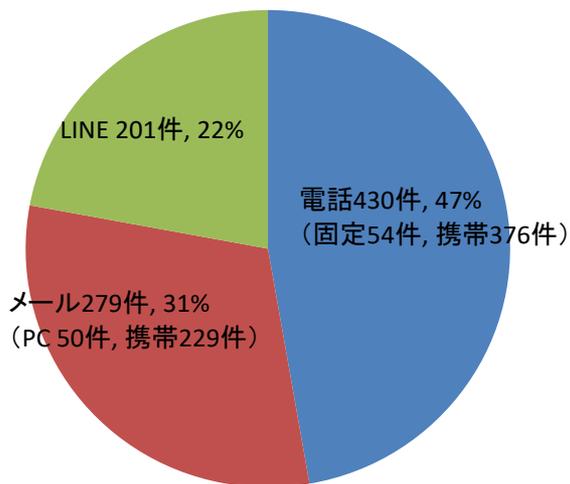
- 6年度の相談件数は、2,308件。内訳は、電話1,269件（固定197件・携帯1,072件）、メール595件（PC95件・携帯500件）、LINE444件となり、電話相談がもっとも多い。
- 青少年にかかる相談（910件）は、電話（430件、固定54件・携帯376件）がもっとも多く、LINE201件がもっとも少ない。
- 青少年以外にかかる相談（1,398件）も、電話（839件、固定143件・携帯696件）がもっとも多く、LINE243件がもっとも少ない。

※「青少年にかかる相談」とは、トラブルの当事者が「青少年」である相談。青少年本人、保護者等親族、学校関係者、職場関係者、その他からの相談が含まれる。「青少年以外にかかる相談」とは、トラブルの当事者が青少年ではない相談。年齢・学齢が不明の相談者も青少年以外に含まれる。

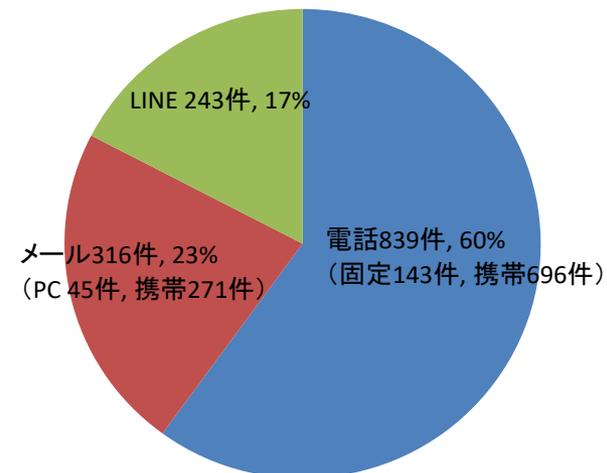
相談全体
2,308件



青少年にかかる相談
910件



青少年以外にかかる相談
1,398件



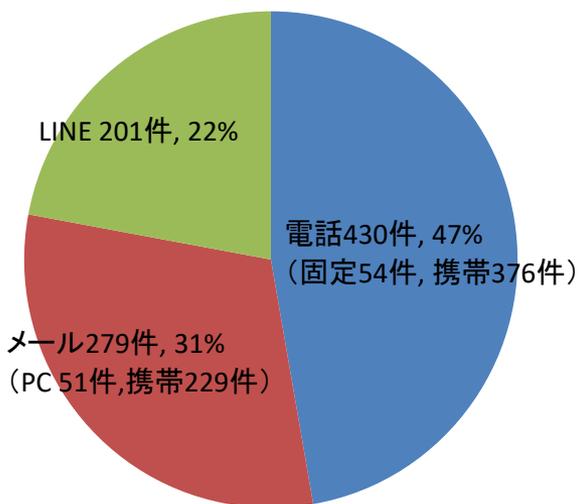
2. 受付方法

(1)-2. 青少年にかかる相談、相談者別

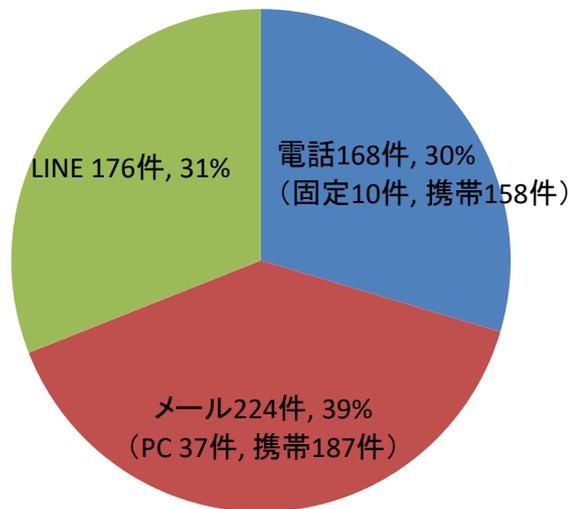
- 青少年本人からの相談は、メール(224件)がもっとも多く、次に多いのはLINE(176件)であった。メール相談の「PC」には、パソコンのほか、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、ゲーム機等も含まれる。
- 青少年本人以外からの相談では、電話(262件、固定44件、携帯218件)がもっとも多く、LINE(25件)がもっとも少ない。

※「青少年本人以外からの相談」とは、青少年の保護者等親族、学校関係者、職場関係者、その他(友人・知人など)からの相談。

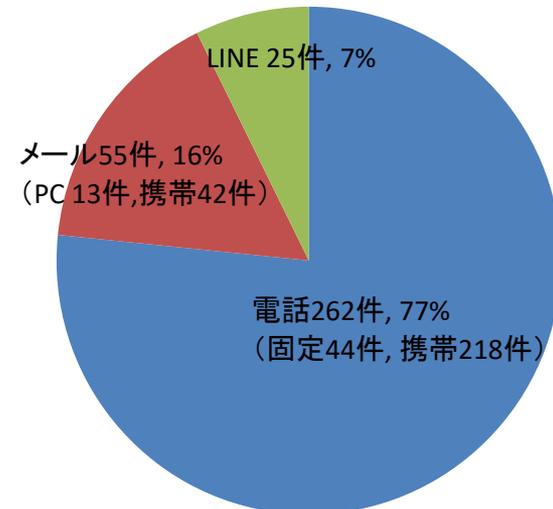
青少年にかかる相談全体
910件



青少年本人からの相談
568件



青少年本人以外からの相談
342件



2. 受付方法

(2) 相談内容別(5年度との比較)

- 6年度の電話相談(1,269件)では、情報セキュリティ(197件、15.5%)がもっとも多い。次いで、迷惑メール(75件、5.9%)がメール、LINEと比べて特に多いのが特徴的である(対象外の相談を除く)。
- メール相談(595件)では、性的トラブル・情報セキュリティ(60件、10.1%)がもっとも多く、次に削除方法(47件、7.9%)、ショッピング(34件、5.7%)と続いた(対象外の相談・意味不明を除く)。
- LINE相談(444件)では、ネットいじめ(45件、10.1%)がもっとも多く、次に交友関係(43件、9.7%)、個人情報関連(40件、9.0%)と続いた(対象外の相談・意味不明を除く)。

※対象外の相談には、インターネットとは無関係な相談(家族関係、学校や友達の悩み)、パソコン、スマートフォン、アプリの使い方(端末固有の操作や設定の方法など)が含まれる。LINE相談では無応答も多く、意味不明に含まれている。

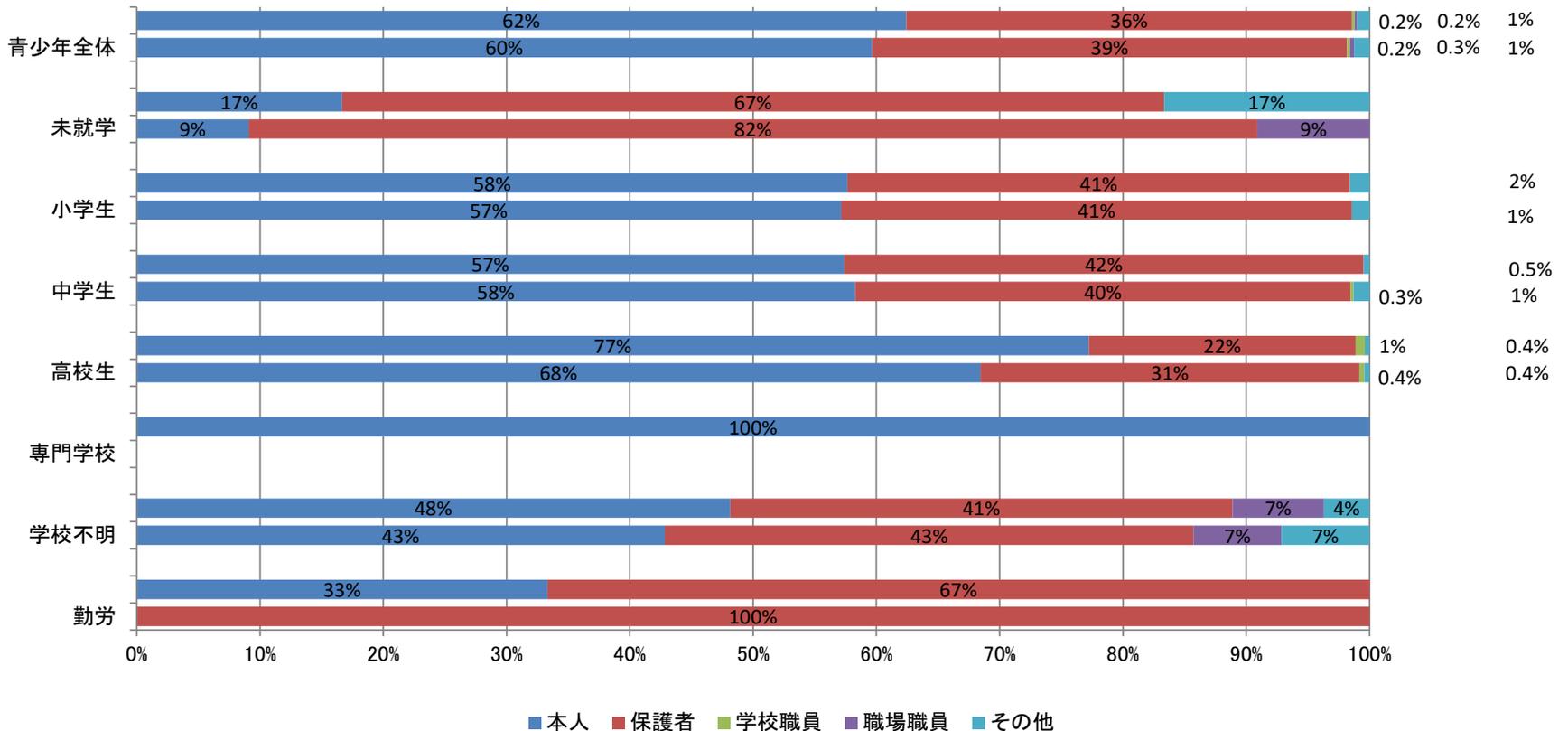
	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
6年度 電話 (1,269件)	6件 (0.5%)	61件 (4.8%)	54件 (4.3%)	75件 (5.9%)	12件 (0.9%)	7件 (0.6%)	67件 (5.3%)	55件 (4.3%)	58件 (4.6%)	61件 (4.8%)	43件 (3.4%)	24件 (1.9%)	15件 (1.2%)	197件 (15.5%)	78件 (6.1%)	46件 (3.6%)	388件 (30.6%)	22件 (1.7%)
5年度 電話 (885件)	14件 (1.6%)	20件 (2.3%)	55件 (6.2%)	35件 (4.0%)	9件 (1.0%)	15件 (1.7%)	68件 (7.7%)	53件 (6.0%)	37件 (4.2%)	35件 (4.0%)	33件 (3.7%)	31件 (3.5%)	18件 (2.0%)	95件 (10.7%)	57件 (6.4%)	50件 (5.6%)	257件 (29.0%)	3件 (0.3%)
6年度 メール (595件)	8件 (1.3%)	34件 (5.7%)	29件 (4.9%)	14件 (2.4%)	4件 (0.7%)	14件 (2.4%)	20件 (3.4%)	31件 (5.2%)	60件 (10.1%)	47件 (7.9%)	11件 (1.8%)	3件 (0.5%)	13件 (2.2%)	60件 (10.1%)	24件 (4.0%)	12件 (2.0%)	171件 (28.7%)	40件 (6.7%)
5年度 メール (437件)	19件 (4.3%)	10件 (2.3%)	55件 (12.6%)	2件 (0.5%)	8件 (1.8%)	5件 (1.1%)	16件 (3.7%)	12件 (2.7%)	31件 (7.1%)	77件 (17.6%)	11件 (2.5%)	9件 (2.1%)	8件 (1.8%)	8件 (1.8%)	25件 (5.7%)	5件 (1.1%)	116件 (26.5%)	20件 (4.6%)
6年度 LINE (444件)	7件 (1.6%)	16件 (3.6%)	45件 (10.1%)	10件 (2.3%)	8件 (1.8%)	5件 (1.1%)	23件 (5.2%)	43件 (9.7%)	23件 (5.2%)	14件 (3.2%)	12件 (2.7%)	3件 (0.7%)	10件 (2.3%)	27件 (6.1%)	40件 (9.0%)	21件 (4.7%)	65件 (14.6%)	72件 (16.2%)
5年度 LINE (537件)	5件 (0.9%)	-	58件 (10.8%)	5件 (0.9%)	3件 (0.6%)	9件 (1.7%)	17件 (3.2%)	50件 (9.3%)	26件 (4.8%)	15件 (2.8%)	10件 (1.9%)	5件 (0.9%)	4件 (0.7%)	34件 (6.3%)	46件 (8.6%)	16件 (3.0%)	126件 (23.5%)	108件 (20.1%)

3. 相談者

(1) 青少年にかかる相談(5年度との比較)

- 5年度と比較すると、青少年全体では本人の割合が増加し(60%→62%)、保護者の割合が減少した(39%→36%)。
- 未就学児、小学生、高校生は本人からの割合が5年度より増加した(未就学児:9%→17%、小学生:57%→58%、高校生:68%→77%)。
- 中学生は、本人からの割合がわずかに減少した(58%→57%)。

上段:6年度
 下段:5年度



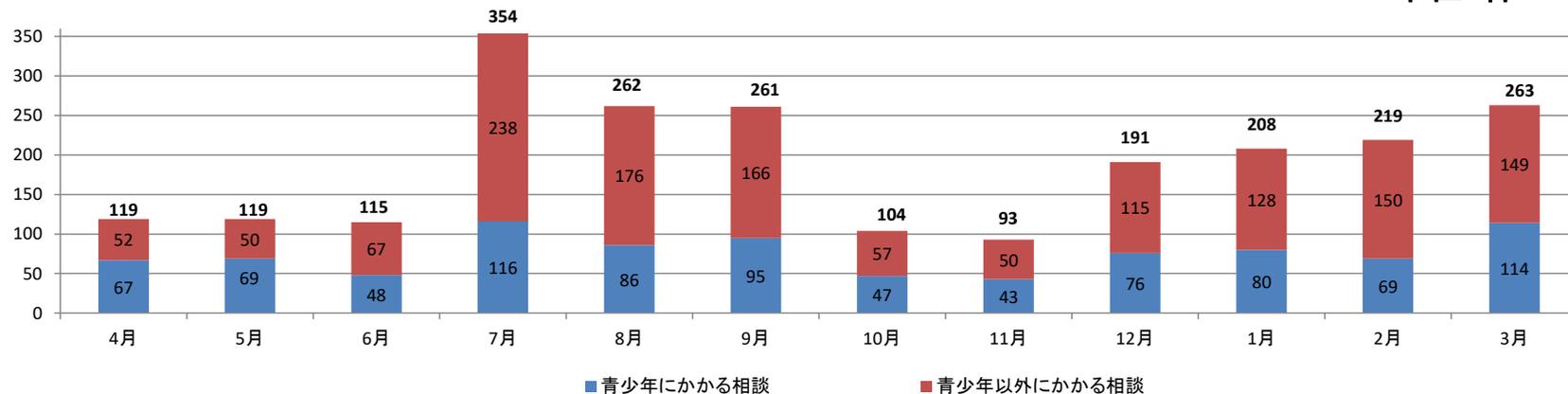
4. 相談件数

(1) 当事者別月別推移(5年度との比較)

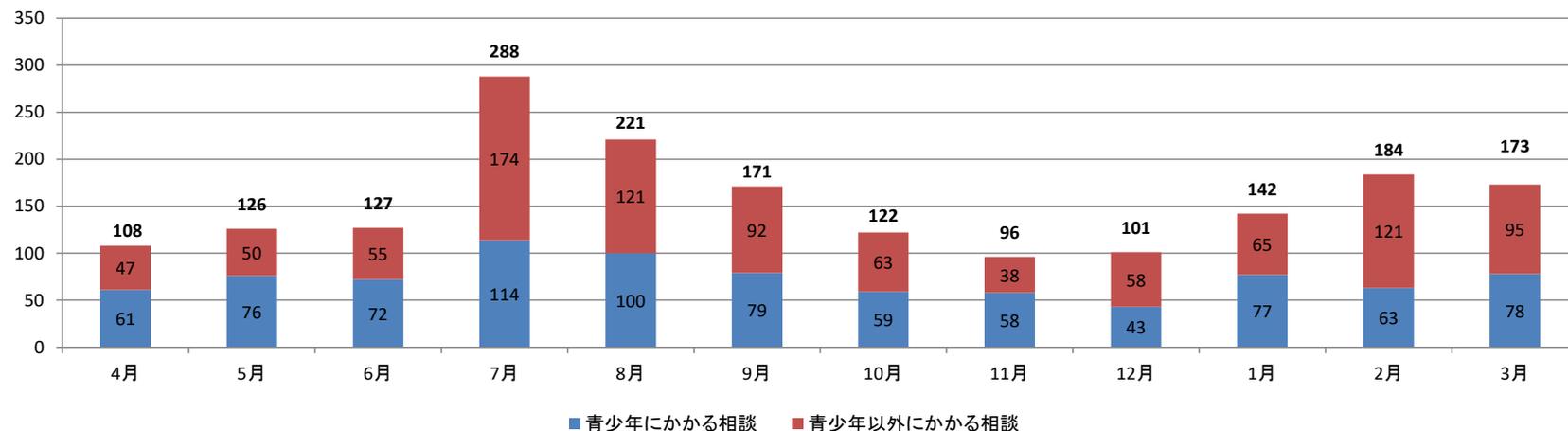
- 全体の相談件数は2,308件。5年度(1,859件)と比べ約24%増加した。特に9月の261件(青少年95件、青少年以外166件)、3月の263件(青少年114件、青少年以外149件)は、5年度の9月の171件(青少年79件、青少年以外92件)、3月の173件(青少年78件、青少年以外95件)を大幅に上回った。6年度で相談件数がもっとも少ないのは11月の93件(青少年43件、青少年以外50件)である。
- 6年度の青少年にかかる相談は7月(116件)がもっとも多く、次に多いのが3月(114件)である。4月から6月、10月から11月までは減少傾向にある。

単位: 件

6年度
2,308件



5年度
1,859件

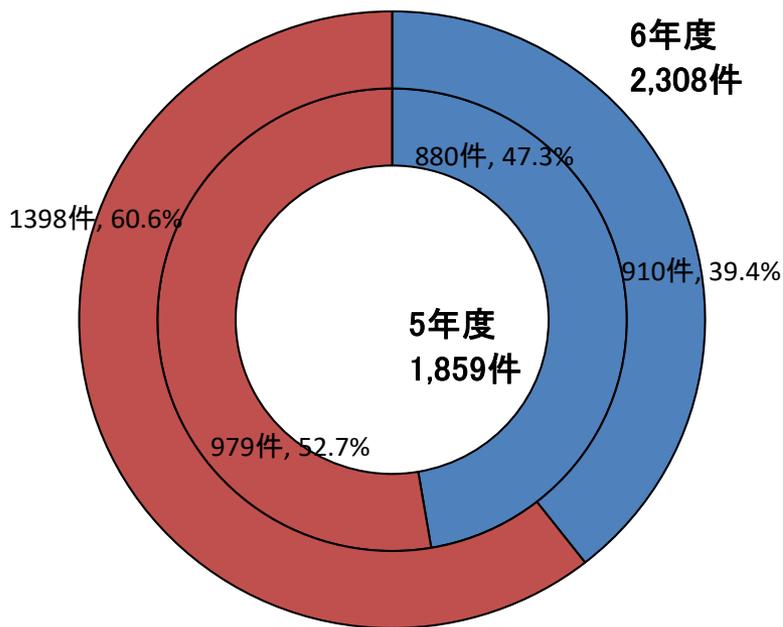


4. 相談件数

(2) 当事者別(5年度との比較)

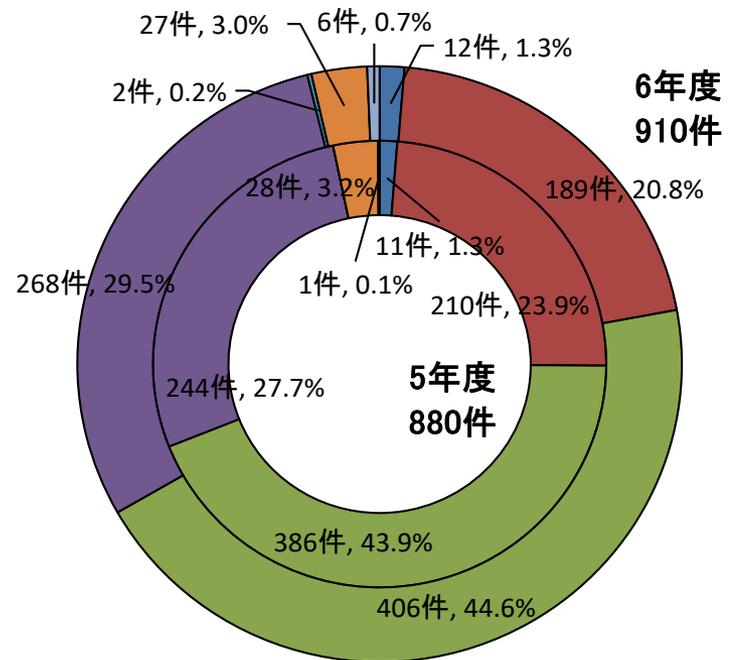
- 当事者別では、青少年にかかる相談(880件、47.3%→910件、39.4%)が件数は増加、割合は減少した。青少年以外にかかる相談(979件、52.7%→1,398件、60.6%)が増加傾向にある。
- 青少年にかかる相談では、5年度と同様、中学生にかかる相談がもっとも多く、件数、割合ともに増加した(386件、43.9%→406件、44.6%)。小学生にかかる相談は、件数、割合ともに減少した(210件、23.9%→189件、20.8%)。高校生にかかる相談は、件数、割合ともに増加した(244件、27.7%→268件、29.5%)。

相談全体



■ 青少年にかかる相談 ■ 青少年以外にかかる相談

青少年にかかる相談



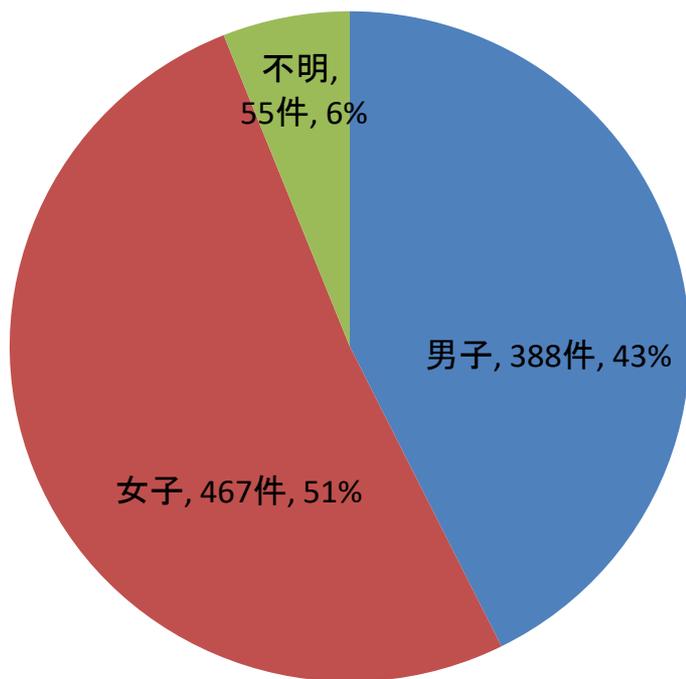
■ 未就学にかかる相談 ■ 小学生にかかる相談
 ■ 中学生にかかる相談 ■ 高校生にかかる相談
 ■ 専門学校等にかかる相談 ■ 学校不明にかかる相談
 ■ 勤労

4. 相談件数

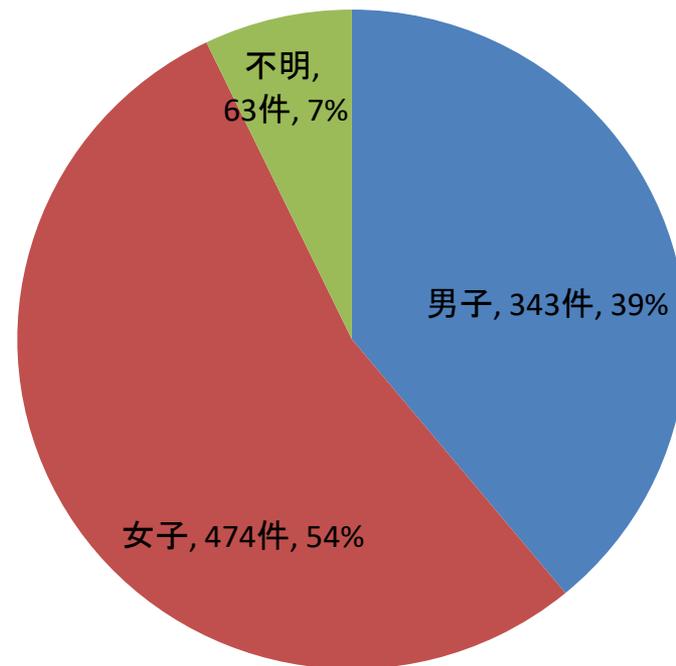
(3) 青少年にかかる相談／性別(5年度との比較)

- 6年度の青少年にかかる相談は910件。男女の内訳は、男子388件(43%)、女子467件(51%)。当事者が女子である相談が多い。
- 5年度との比較では、男子が件数、割合ともに増加し(343件、39%→388件、43%)。女子は件数、割合ともに減少した(474件、54%→467件、51%)。

6年度
910件



5年度
880件



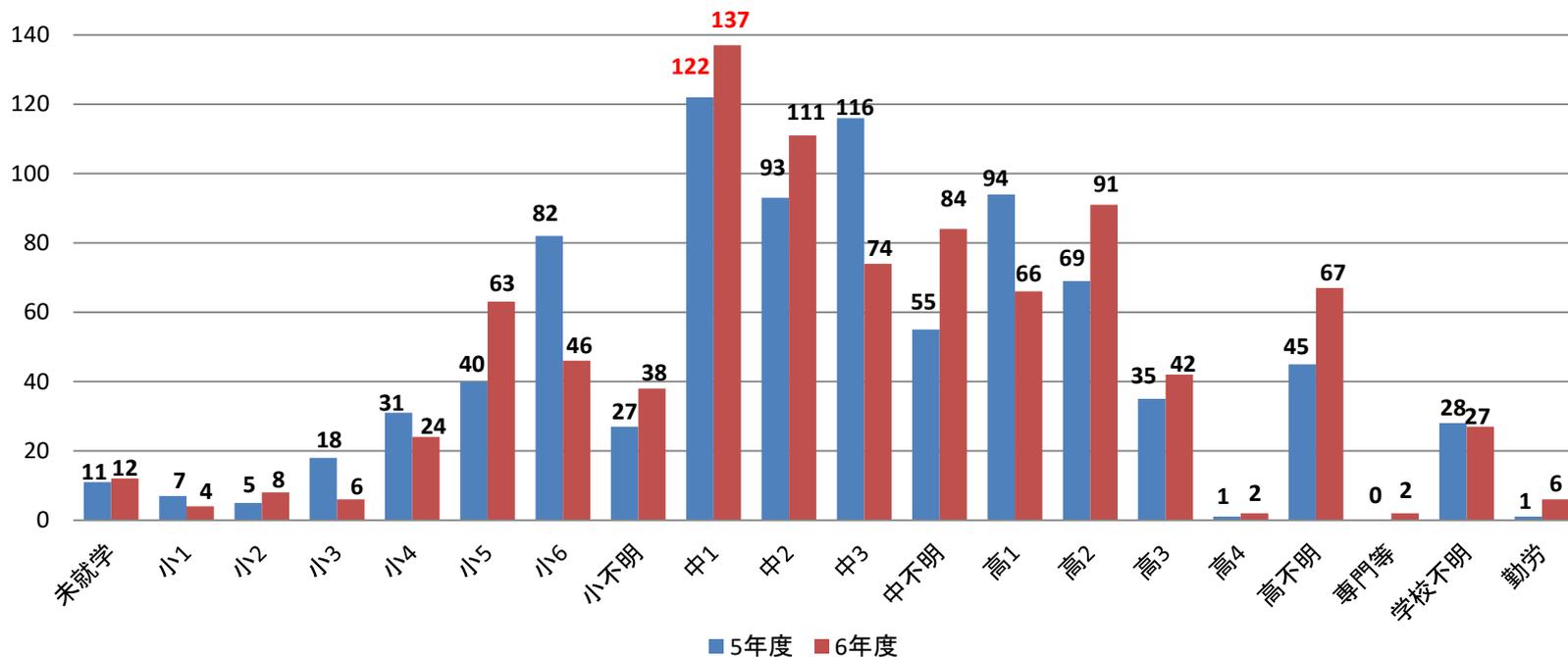
4. 相談件数

(4) 青少年にかかる相談／学年別(5年度との比較)

- 6年度の青少年にかかる相談は910件。中学1年生(137件)がもっとも多い。
- 小学生は、2年生(5件→8件)、5年生(40件→63件)が増加し、1年生(7件→4件)、3年生(18件→6件)、4年生(31件→24件)、6年生(82件→46件)が減少した。
- 中学生は、1年生(122件→137件)、2年生(93件→111件)は増加し、3年生(116件→74件)のみ減少した。
- 高校生は、2年生(69件→91件)、3年生(35件→42件)が増加し、1年生(94件→66件)は減少した。

※5年度と6年度においてもっとも多い学年の件数を赤字で示した。

単位：件

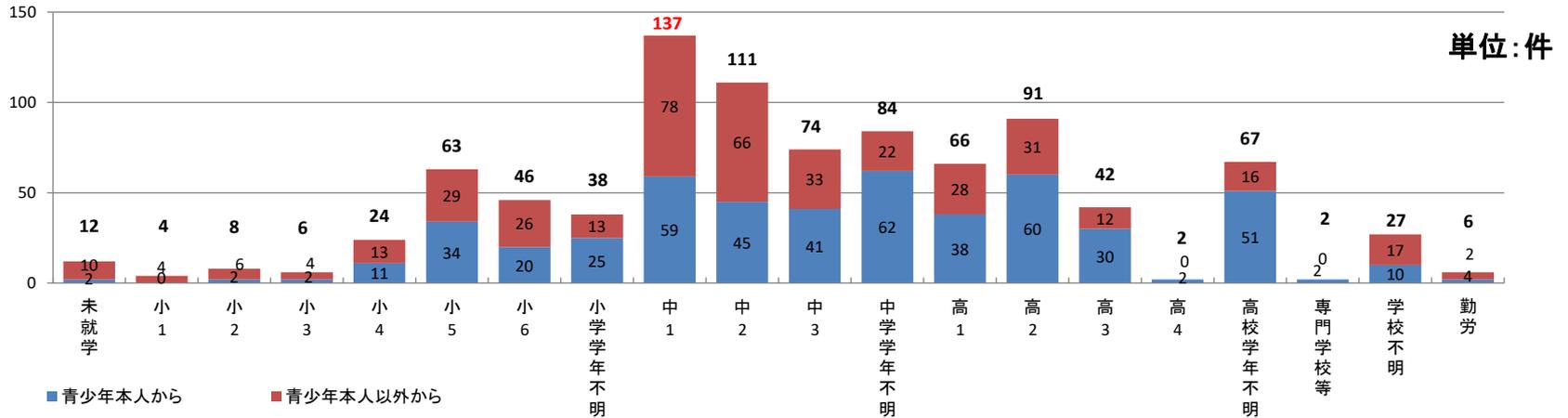


4. 相談件数

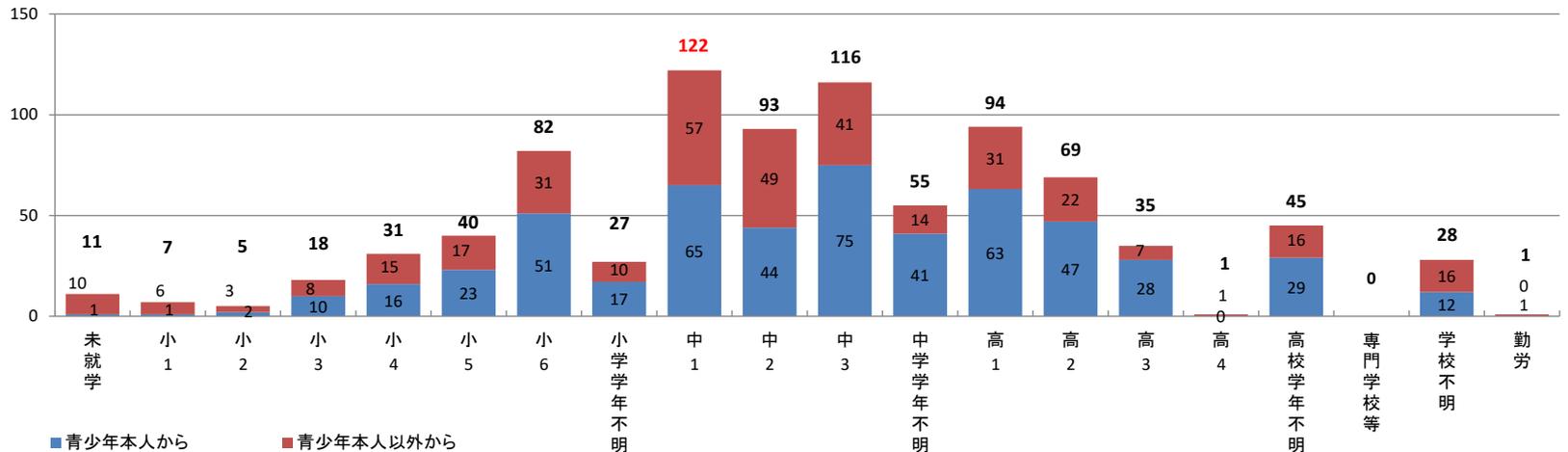
(5) 学年別・相談者別(5年度との比較)

- 青少年にかかる相談は910件。中学1年生(137件)がもっとも多く、本人からの相談は中学学年不明(62件)がもっとも多い。
- 5年度と比べ本人からの相談が増加したのは、小学生では、5年生(23件→34件)、中学生では2年生(44件→45件)、高校生では2年生(47件→60件)、3年生(28件→30件)。

6年度
910件



5年度
880件





4. 相談件数

(6) 相談内容別・青少年(詳細件数)

■ 6年度の青少年にかかる相談(910件)について、相談内容別の学年別相談件数は、下記のとおり。

※各学年ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

単位: 件

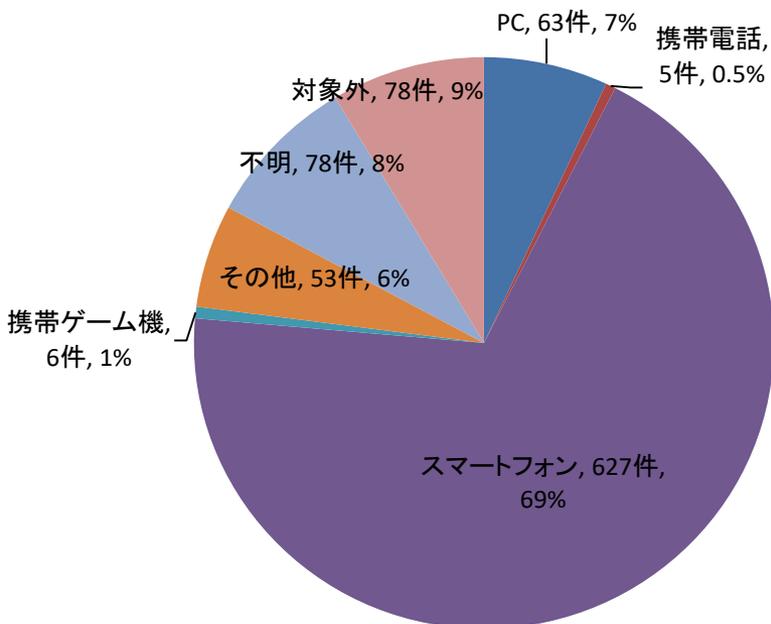
	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小不明	中1	中2	中3	中不明	高1	高2	高3	高4	高不明	専門	学校不明	勤労	合計
架空請求									3	1		2		2		2			1		11
ショッピング										2	1		1		1		3			1	9
ネットいじめ			1	1	2	3	8	1	19	7	8	6	6	4	3		6		2		77
迷惑メール	1			1		2			2												6
有害情報					3	3				1		1	5	2							15
著作権関連					1	1	1		1		2	1		4							11
依存	1				1	7	7	2	17	21	8	11	9	8	4				1	2	99
交友関係				1	1	7	5	3	21	18	9	1	5	10			8				89
性的トラブル				1		4	1	2	13	21	18	17	14	9	5		9	1	1	2	118
削除方法						7	4		7	8	2	3	6	7	2		6	1	5		58
料金関係			1	2	1	1	1		2		2	1	1	3	1				1		17
フィルタリング関係			2		1	1	3		11	5	2	1		3			1				30
取引トラブル									2			1	1	2	2				1		9
情報セキュリティ				4	1	1			3	7	3	2	4	6	4				1		36
個人情報関連	1				2	3	10		8	1	6	4	9	5	1		5				55
その他		1	2		1	6		1	5	2	3	2	1	5	2		2		1		34
対象外の相談	7	3	1		7	14	5	27	23	12	9	28	4	10	15		27		13	1	206
意味不明	2		1			3		2		5	1	3		11	2						30
合計	12	4	8	6	24	63	46	38	137	111	74	84	66	91	42	2	67	2	27	6	910

5. 使用端末

(1) 相談対象となった使用端末

- 青少年にかかる相談(910件)の使用端末は、スマートフォン(627件、69%)がもっとも多い。
- 携帯電話(フィーチャーフォン)は年々減少し(5件、0.5%)、PC(63件、7%)や携帯ゲーム機(6件、1%)を下回った。
- 「その他」(53件、6%)には、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、回線契約無しスマートフォン等が含まれる。

青少年にかかる相談
910件



使用端末	相談者					合計
	本人	保護者等親族	学校職員	職場職員	その他	
PC	49 件	14 件				63 件
携帯		5 件				5 件
スマートフォン	387 件	235 件	1 件		4 件	627 件
携帯ゲーム機	6 件					6 件
その他	28 件	25 件				53 件
不明	54 件	18 件	1 件	2 件	3 件	78 件
対象外	44 件	32 件			2 件	78 件
合計	568 件	329 件	2 件	2 件	9 件	910 件

5. 使用端末

(2) 相談対象となった使用端末別・内容項目

- 青少年にかかる相談(910件)では、スマートフォンでの性的トラブル(102件)がもっとも多い。次にスマートフォンでの依存(79件)、スマートフォンでの交友関係(64件)となった(対象外の相談を除く)。
- PCに関しては削除方法(8件)がもっとも多い(対象外の相談を除く)。
- 「その他」の端末においては依存(12件)が多く、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、回線契約無しスマートフォンでも長時間利用の問題が起きていることを示している。

※端末ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

単位: 件

内容項目	使用端末							合計
	PC	携帯電話	スマートフォン	携帯ゲーム機	その他	不明	対象外	
架空請求			10		1			11
ショッピング			9					9
ネットいじめ	4	2	52	1	1	17		77
迷惑メール			3			3		6
有害情報	1		10		2	2		15
著作権関連		1	7		2	1		11
依存	4		79	1	12	3		99
交友関係	3		64	2	2	18		89
性的トラブル	4		102		3	9		118
削除方法	8	2	39			9		58
料金関係			15		2			17
フィルタリング関係	3		24		3			30
取引トラブル			8			1		9
情報セキュリティ	6		24		5	1		36
個人情報関連	1		45		3	6		55
その他	4		17	2	3	8		34
対象外の相談	12		112		12		70	206
意味不明	13		7		2		8	30
合計	63	5	627	6	53	78	78	910

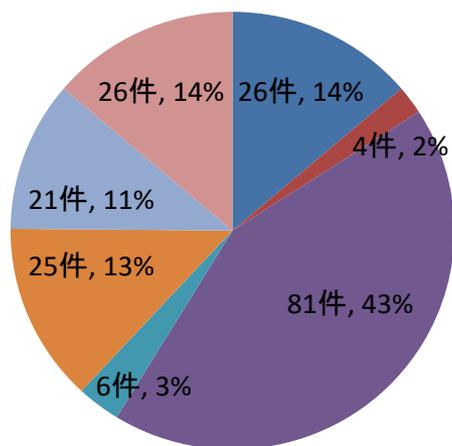
5. 使用端末

(3) 学職別使用端末

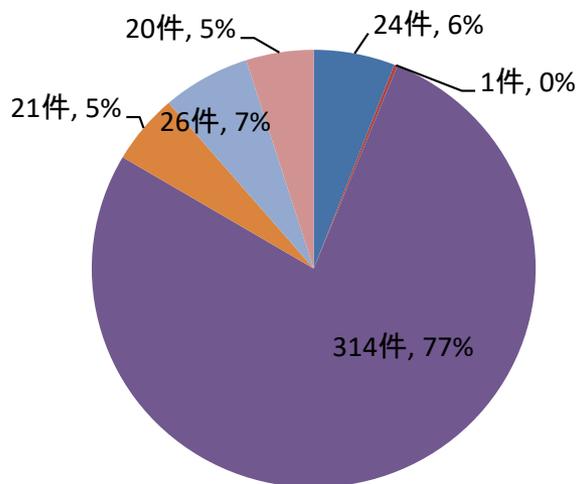


- 学職別においてもスマートフォンの割合がもっとも多く、小学生(81件、43%)、中学生(314件、77%)、高校生(211件、79%)であった。
- 小学生では、スマートフォンの次に多いのはPC(26件、14%)。携帯ゲーム機(6件、3%)が中学生・高校生と比べてやや多い。
- 中学生・高校生では、スマートフォンの割合が70%を超え、それ以外の割合が非常に少ない。

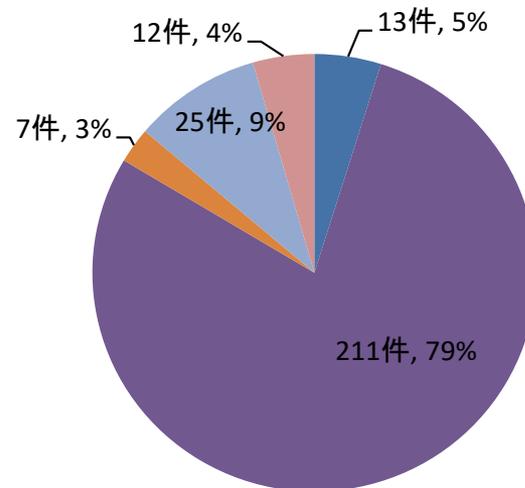
小学生にかかる相談 189件



中学生にかかる相談 406件



高校生にかかる相談 268件



■ PC
■ スマートフォン
■ その他
■ 対象外
■ 携帯電話
■ 携帯ゲーム機
■ 不明

■ PC
■ スマートフォン
■ その他
■ 対象外
■ 携帯電話
■ 携帯ゲーム機
■ 不明

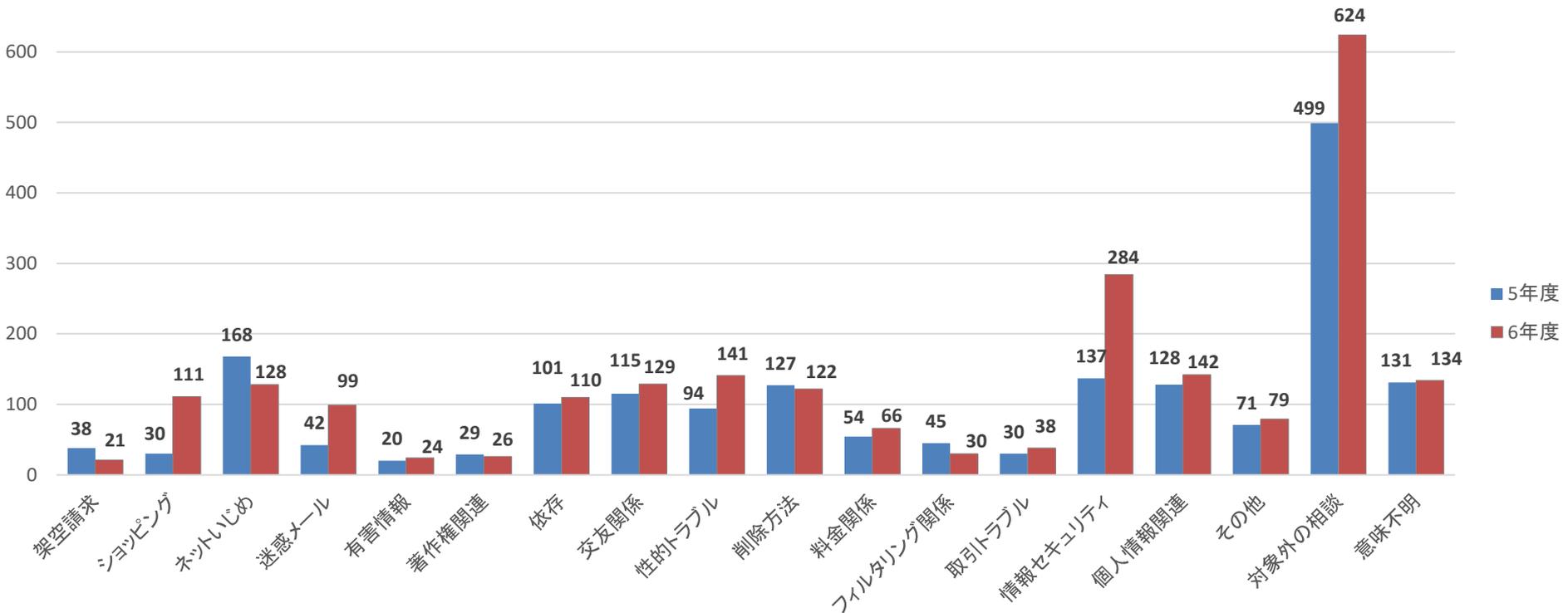
■ PC
■ スマートフォン
■ その他
■ 対象外
■ 携帯電話
■ 携帯ゲーム機
■ 不明

6. 相談内容

(1) 全体(5年度との比較)

- 6年度の相談件数(2,308件)は5年度(1,859件)と比べ約24%増加した。
- 対象外の相談を除きもっとも多かったのは、情報セキュリティ(284件)であり、5年度と比べ2倍以上増加した。
- 情報セキュリティ以外では、主に増加した項目は、ショッピング(30件→111件)、迷惑メール(42件→99件)、性的トラブル(94件→141件)、取引トラブル(30件→38件)。
- 主に減少した項目は、架空請求(38件→21件)、ネットいじめ(168件→128件)、フィルタリング関係(45件→30件)。

単位:件



6. 相談内容

(4) 小学生にかかる相談・相談者別

- 小学生にかかる相談(189件)の相談者別、相談内容の構成比は下記のとおり。
- 6年度、小学生全体では依存・交友関係(17件、9%)の相談がもっとも多かった(対象外の相談を除く)。

※相談者ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

6年度 189件

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
小学生全体 (189件)	-	-	16件 (8%)	3件 (2%)	6件 (3%)	3件 (2%)	17件 (9%)	17件 (9%)	8件 (4%)	11件 (6%)	6件 (3%)	7件 (4%)	-	6件 (3%)	15件 (8%)	11件 (6%)	57件 (30%)	6件 (3%)
小学生本人 (109件)	-	-	9件 (8%)	3件 (3%)	2件 (2%)	-	2件 (2%)	11件 (10%)	5件 (5%)	2件 (2%)	1件 (1%)	2件 (2%)	-	6件 (6%)	13件 (12%)	9件 (8%)	38件 (35%)	6件 (6%)
小学生保護者 (77件)	-	-	7件 (9%)	-	4件 (5%)	3件 (4%)	15件 (19%)	5件 (6%)	3件 (4%)	9件 (12%)	5件 (6%)	5件 (6%)	-	-	2件 (3%)	1件 (1%)	18件 (23%)	-
小学生学校職員 (0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学生職場職員 (0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学生その他 (3件)	-	-	-	-	-	-	-	1件 (33%)	-	-	-	-	-	-	-	1件 (33%)	1件 (33%)	-

6. 相談内容

(5) 小学生(5年度との比較)

- 6年度の小学生にかかる相談(189件)は、5年度(210件)と比べ約10%減少した。もっとも多かったのは依存(27件、13%→17件、9%)と交友関係(12件、6%→17件、9%)だが、依存については5年度と比べ件数、割合ともに減少した。
- 増加した項目は主に、有害情報(3件、1%→6件、3%)、性的トラブル(6件、3%→8件、4%)、削除方法(9件、4%→11件、6%)である。
- 減少した項目は主に、ネットいじめ(27件、13%→16件、8%)、料金関係(19件、9%→5件、3%)、フィルタリング関係(11件、5%→7件、4%)である。

※5年度と6年度においてそれぞれもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

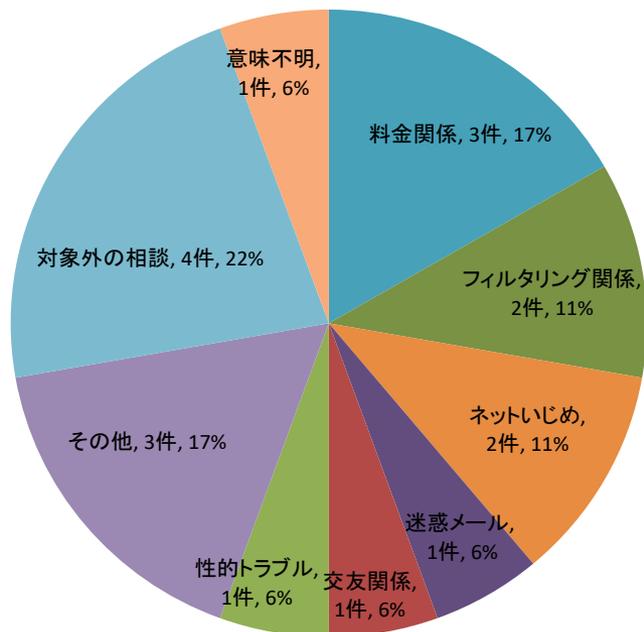
	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
6年度 (189件)	-	-	16件 (8%)	3件 (2%)	6件 (3%)	3件 (2%)	17件 (9%)	17件 (9%)	8件 (4%)	11件 (6%)	6件 (3%)	7件 (4%)	-	6件 (3%)	15件 (8%)	11件 (6%)	57件 (30%)	6件 (3%)
5年度 (210件)	3件 (1%)	-	27件 (13%)	-	3件 (1%)	4件 (2%)	27件 (13%)	12件 (6%)	6件 (3%)	9件 (4%)	19件 (9%)	11件 (5%)	-	9件 (4%)	15件 (7%)	3件 (1%)	57件 (27%)	5件 (2%)

6. 相談内容

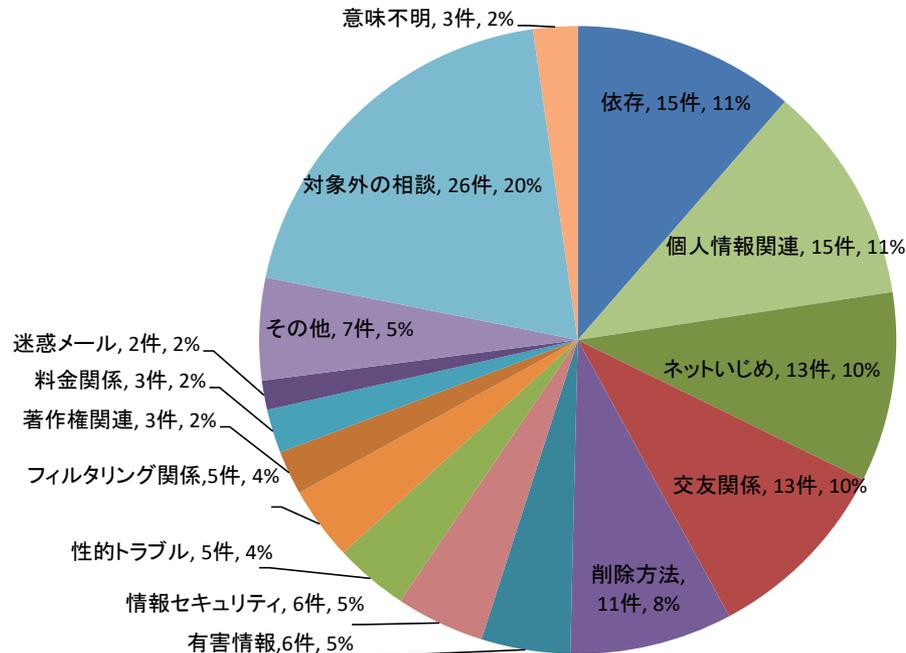
(6) 小学1年生～3年生/4年生～6年生

- 小学生にかかる相談189件のうち、1～3年生にかかる相談は18件、4～6年生にかかる相談は133件、学年不明は38件で、4～6年生が約7割を占めている。
- 1～3年生にかかる相談は18件と少なく、上位は料金関係(3件、17%)やフィルタリング関係(2件、11%)などインターネットの使い方に関わる保護者からの相談である。
- 4～6年生にかかる相談では、依存・個人情報関連(15件、11%)がもっとも多く、インターネットの長時間利用に関わる保護者からの相談が増える。次にネットいじめ・交友関係(13件、10%)、削除方法(11件、8%)と続き、中高生と同様にSNSをきっかけとしたコミュニケーショントラブルや書き込みトラブルも多く含まれている。

1年～3年
18件



4年～6年
133件





6. 相談内容

(7) 中学生にかかる相談・相談者別

- 中学生にかかる相談(406件)の相談者別、相談内容の構成比は下記のとおり。
- 6年度、中学生全体では性的トラブル(69件、17%)の相談がもっとも多かった(対象外の相談を除く)。

※相談者ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

6年度 406件

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
中学生全体(406件)	6件(1%)	3件(1%)	40件(10%)	2件(0%)	2件(0%)	4件(1%)	57件(14%)	49件(12%)	69件(17%)	20件(5%)	5件(1%)	19件(5%)	3件(1%)	15件(4%)	19件(5%)	12件(3%)	72件(18%)	9件(2%)
中学生本人(233件)	6件(3%)	1件(0%)	24件(10%)	1件(0%)	1件(0%)	4件(2%)	10件(4%)	28件(12%)	40件(17%)	13件(6%)	-	2件(1%)	3件(1%)	8件(3%)	12件(5%)	6件(3%)	65件(28%)	9件(4%)
中学生保護者(171件)	-	2件(1%)	16件(9%)	1件(1%)	1件(1%)	-	47件(27%)	21件(12%)	29件(17%)	7件(4%)	5件(3%)	17件(10%)	-	7件(4%)	7件(4%)	4件(2%)	7件(4%)	-
中学生学校職員(0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中学生職場職員(0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中学生その他(2件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2件(100%)	-	-

6. 相談内容

(8) 中学生(5年度との比較)

- 6年度の中学生にかかる相談(406件)は、5年度(386件)と比べ約5%増加した。もっとも多かったのは性的トラブル(30件、8%→69件、17%)である(対象外の相談を除く)。5年度もっとも多かった個人情報関連(52件、13%→19件、5%)は件数、割合ともに減少した。
- 性的トラブルのほかに増加した項目は主に、依存(43件、11%→57件、14%)、交友関係(33件、9%→49件、12%)、削除方法(13件、3%→20件、5%)である。
- 個人情報関連が大幅に減少したほか、架空請求(11件、3%→6件、1%)、ネットいじめ(46件、12%→40件、10%)、フィルタリング関係(25件、6%→19件、5%)、取引トラブル(11件、3%→3件、1%)などの項目が減少した。

※5年度と6年度においてそれぞれもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
6年度 (406件)	6件 (1%)	3件 (1%)	40件 (10%)	2件 (0%)	2件 (0%)	4件 (1%)	57件 (14%)	49件 (12%)	69件 (17%)	20件 (5%)	5件 (1%)	19件 (5%)	3件 (1%)	15件 (4%)	19件 (5%)	12件 (3%)	72件 (18%)	9件 (2%)
5年度 (386件)	11件 (3%)	-	46件 (12%)	2件 (1%)	3件 (1%)	13件 (3%)	43件 (11%)	33件 (9%)	30件 (8%)	13件 (3%)	8件 (2%)	25件 (6%)	11件 (3%)	19件 (5%)	52件 (13%)	18件 (5%)	56件 (15%)	3件 (1%)

6. 相談内容

(9) 高校生にかかる相談・相談者別

- 高校生にかかる相談(268件)の相談者別、相談内容の構成比は下記のとおり。
- 6年度、高校生全体では性的トラブル(37件、14%)の相談がもっとも多かった(対象外の相談を除く)。

※相談者ごとにもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

6年度 268件

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
高校生全体 (268件)	4件 (1%)	5件 (2%)	19件 (7%)	-	7件 (3%)	4件 (1%)	21件 (8%)	23件 (9%)	37件 (14%)	21件 (8%)	5件 (2%)	4件 (1%)	5件 (2%)	14件 (5%)	20件 (7%)	10件 (4%)	56件 (21%)	13件 (5%)
高校生本人 (207件)	4件 (2%)	5件 (2%)	14件 (7%)	-	7件 (3%)	4件 (2%)	2件 (1%)	19件 (9%)	26件 (13%)	15件 (7%)	1件 (0%)	3件 (1%)	5件 (2%)	13件 (6%)	17件 (8%)	9件 (4%)	50件 (24%)	13件 (6%)
高校生保護者 (58件)	-	-	4件 (7%)	-	-	-	19件 (33%)	4件 (7%)	10件 (17%)	5件 (9%)	4件 (7%)	1件 (2%)	-	1件 (2%)	3件 (5%)	1件 (2%)	6件 (10%)	-
高校生学校職員 (2件)	-	-	-	-	-	-	-	-	1件 (50%)	1件 (50%)	-	-	-	-	-	-	-	-
高校生職場職員 (0件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高校生その他 (1件)	-	-	1件 (100%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6. 相談内容

(10) 高校生(5年度との比較)

- 6年度の高校生にかかる相談(268件)は、5年度(244件)と比べ約10%増加した。もっとも多かったのは5年度と同様、性的トラブル(37件、15%→37件、14%)であり、件数、割合もほぼ同じだった。
- 増加した項目は主に、有害情報(3件、1%→7件、3%)、削除方法(9件、4%→21件、8%)である。
- 減少した項目は主に、ネットいじめ(26件、11%→19件、7%)、依存(25件、10%→21件、8%)、取引トラブル(9件、4%→5件、2%)、情報セキュリティ(17件、7%→14件、5%)などである。

※5年度と6年度においてそれぞれもっとも件数の多い相談を赤字で示した(対象外の相談を除く)。

	架空請求	ショッピング	ネットいじめ	迷惑メール	有害情報	著作権関連	依存	交友関係	性的トラブル	削除方法	料金関係	フィルタリング関係	取引トラブル	情報セキュリティ	個人情報関連	その他	対象外の相談	意味不明
6年度 (268件)	4件 (1%)	5件 (2%)	19件 (7%)	-	7件 (3%)	4件 (1%)	21件 (8%)	23件 (9%)	37件 (14%)	21件 (8%)	5件 (2%)	4件 (1%)	5件 (2%)	14件 (5%)	20件 (7%)	10件 (4%)	56件 (21%)	13件 (5%)
5年度 (244件)	5件 (2%)	4件 (2%)	26件 (11%)	4件 (2%)	3件 (1%)	4件 (2%)	25件 (10%)	31件 (13%)	37件 (15%)	9件 (4%)	4件 (2%)	4件 (2%)	9件 (4%)	17件 (7%)	19件 (8%)	9件 (4%)	32件 (13%)	2件 (1%)

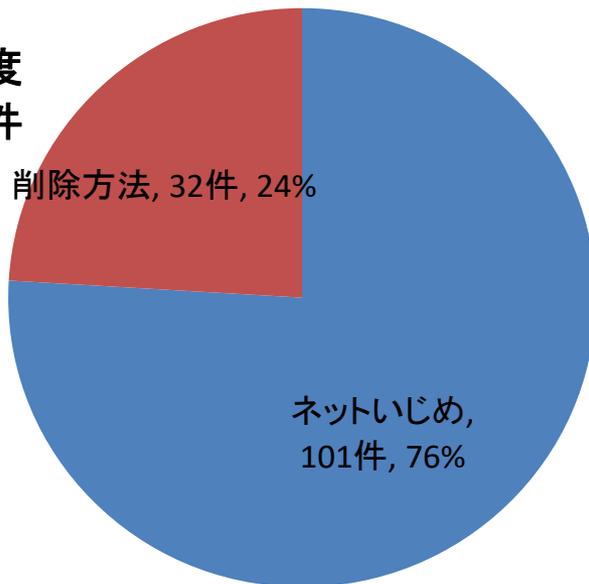
7. 主な相談の概要

(1) ネット上の書き込みトラブル

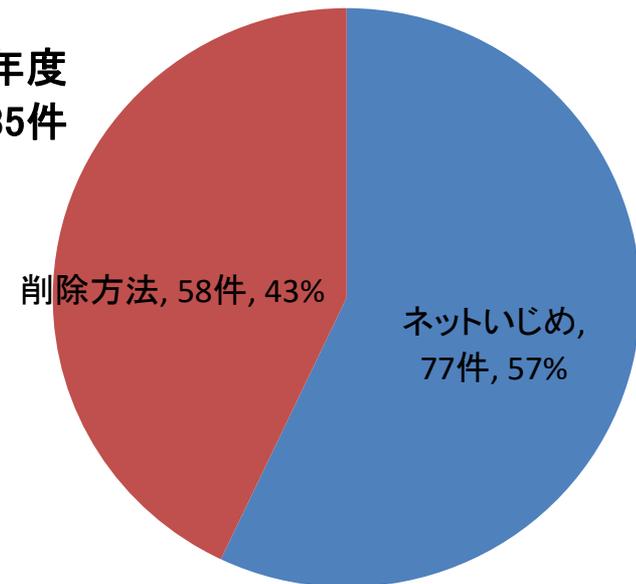
(ア) 青少年にかかる相談・内容別(5年度との比較)

- ネットいじめ、削除方法をネット上の書き込みトラブルとした。
- ネットいじめ(101件、76%→77件、57%)は、件数、割合ともに減少した。削除方法(32件、24%→58件、43%)は、件数、割合ともに増加した。
- ブログやSNSなどインターネット利用者が情報を発信、構築していくサービスは青少年にも人気であるが、安易に情報を発信してしまった結果、何らかのトラブルになる相談が後を絶たない。

5年度
133件



6年度
135件

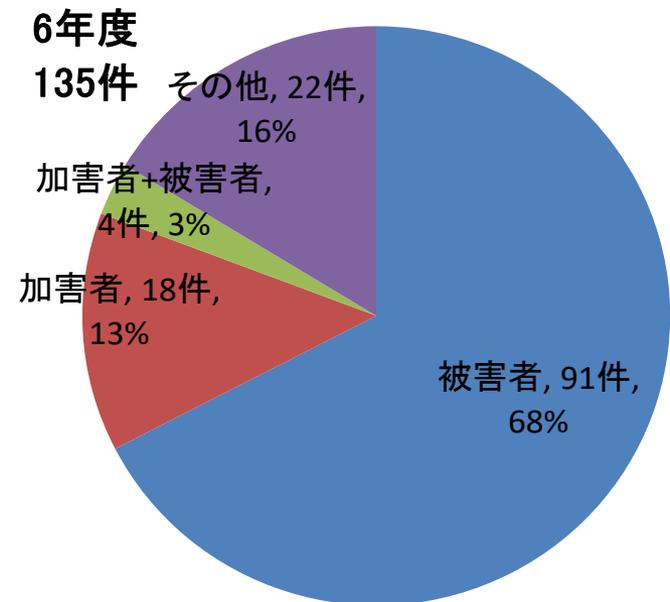
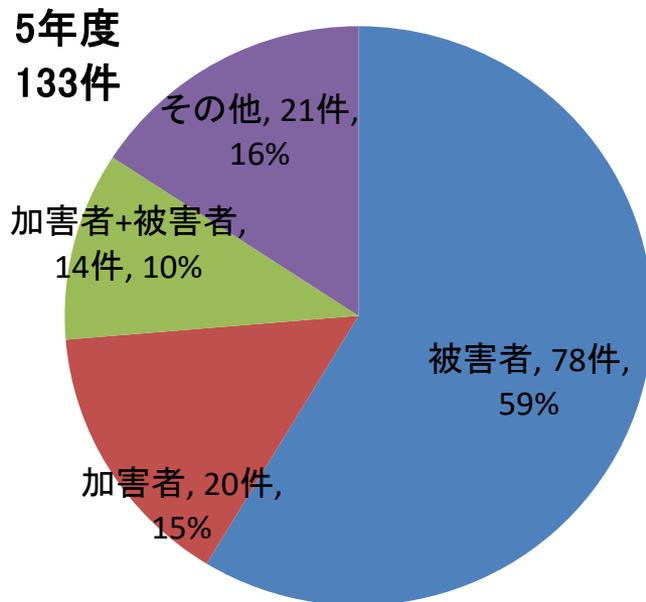


7. 主な相談の概要

(1) ネット上の書き込みトラブル

(イ) 青少年にかかる相談・相談者の加害者・被害者別(5年度との比較)

- 5年度(133件)と6年度(135件)の被害・加害の割合を比較すると、被害者が増加し、他はその他が同率で、それ以外は減少している。
- 5年度との比較では、被害者からの相談(78件、59%→91件、68%)が件数、割合ともに増加し、加害者からの相談(20件、15%→18件、13%)は件数、増加ともに減少している。
- その他に分類されているものについては、自分で書き込んだ(作成した)ものを削除したいという内容が多かった。ほか、第三者が投稿した動画において自身は動画と無関係だが、公序良俗に反するため削除できないか、著名人の誹謗中傷を削除できないか、という相談もあった。

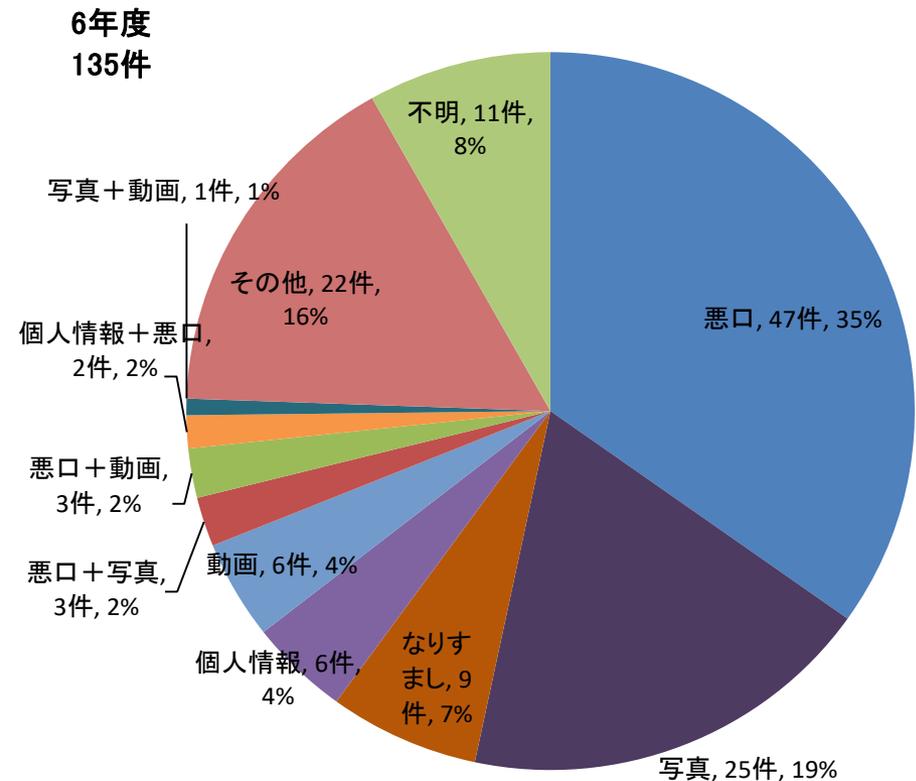
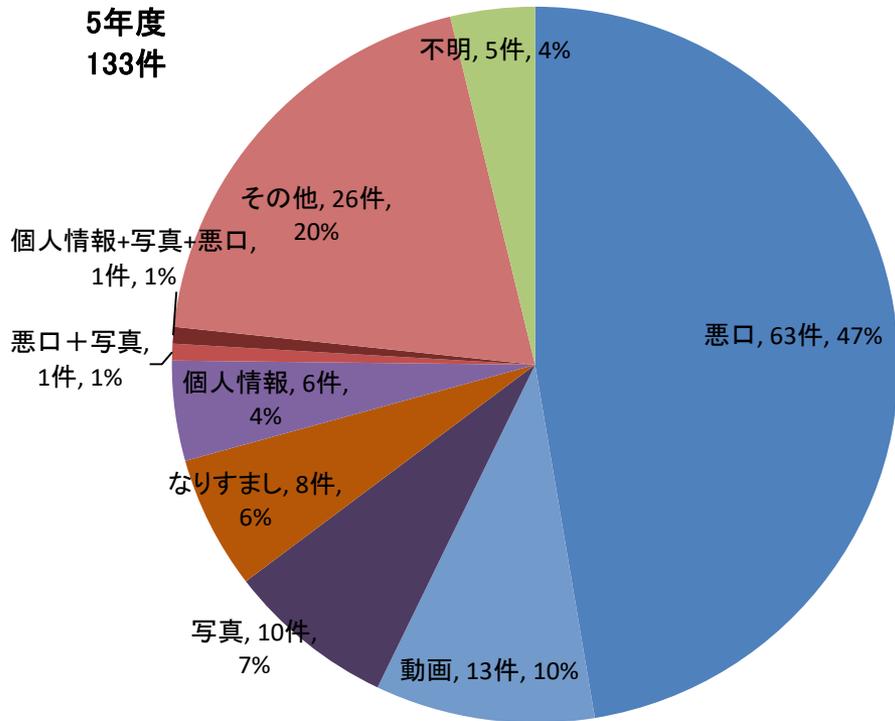


7. 主な相談の概要

(1) ネット上の書き込みトラブル

(ウ) 青少年にかかる相談・書き込み内容別(5年度との比較)

- 6年度の青少年のネット上の書き込みトラブル(135件)において書き込みの内容を分類したところ、もっとも多かったのは、5年度同様に悪口(47件、35%)で約4割を占めた。
- 5年度(133件)との比較では、主に写真(10件、7%→25件、19%)、なりすまし(8件、6%→9件、7%)が増加し、悪口(63件、47%→47件、35%)、動画(13件、10%→6件、4%)が減少している。

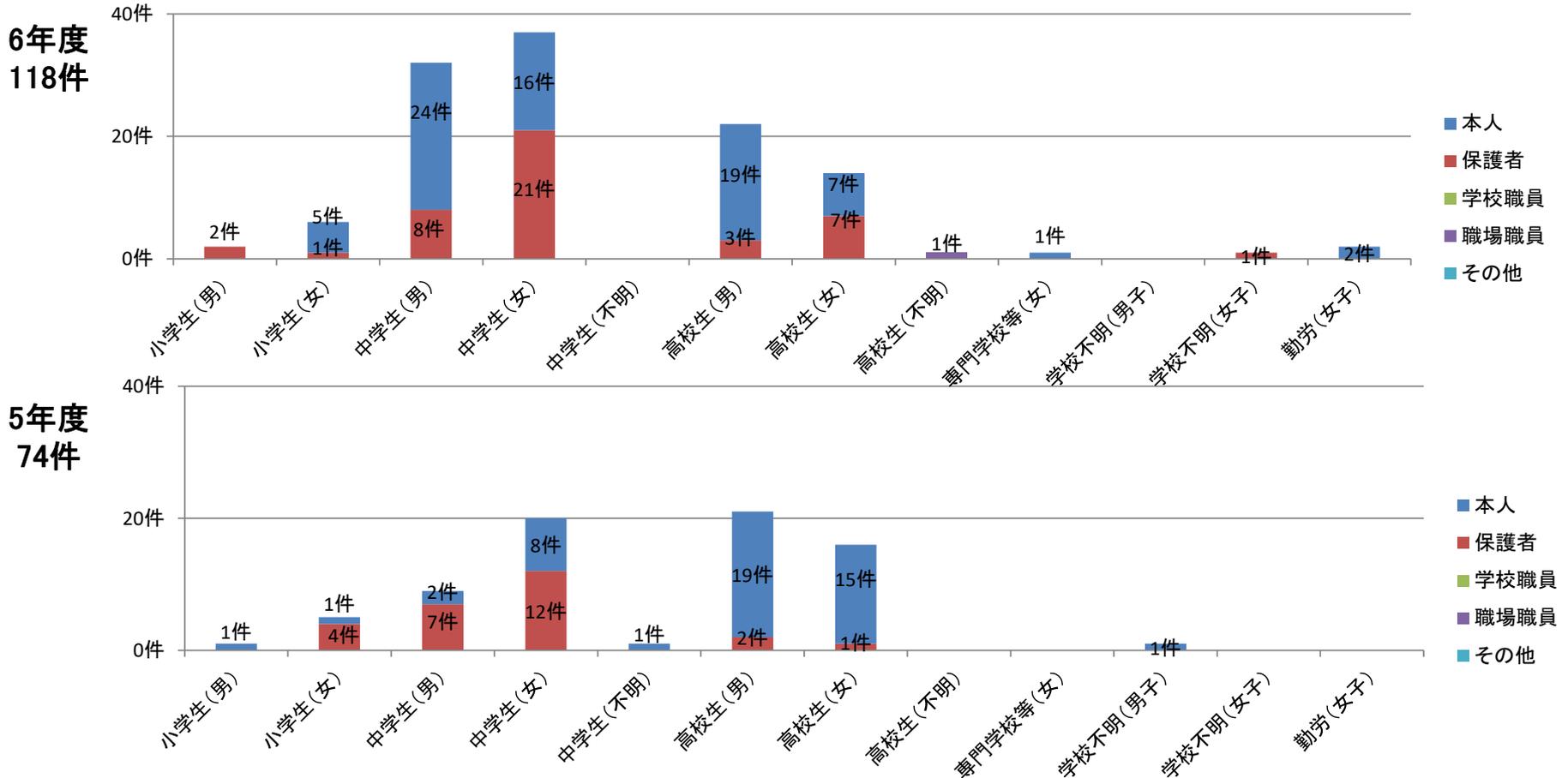


7. 主な相談の概要

(2) 性的トラブル

(ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(5年度との比較)

- 6年度の青少年にかかる性的トラブルは118件であった。
- 当事者は中学生女子(37件)がもっとも多く、次いで中学生男子(32件)であった。
- 5年度から相談件数が約6割増加した。
- 小学生、中学生は男子、女子ともに増加している。
- 男女別では5年度同様に男子(56件)より女子(61件)が多いが、その差は縮まった。



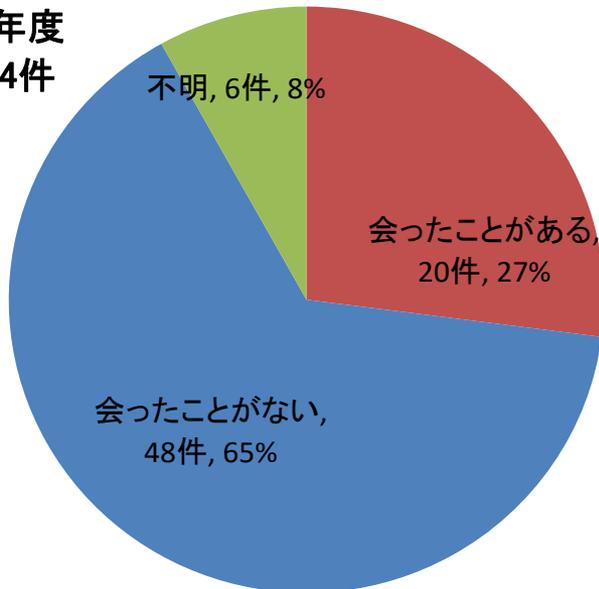
7. 主な相談の概要

(2) 性的トラブル

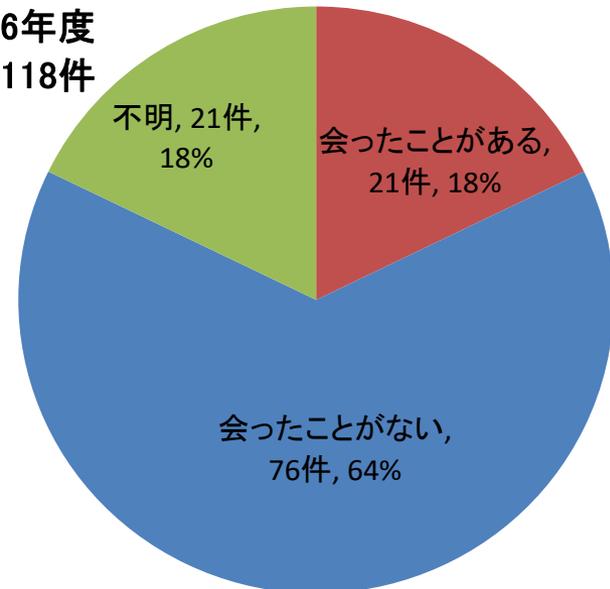
(イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(5年度との比較)

- 青少年にかかる性的トラブルの相談(118件)のうち、実際に「相手と会ったことがある」は、21件、18%であった。
- 5年度との比較では、「相手と会ったことがある」(20件、27%→21件、18%)は、件数は増加、割合は減少し、「相手と会ったことがない」(48件、65%→76件、64%)は、件数は増加、割合は減少した。
- 出会いを求めるようなアプリに限らず、インターネットでは気の合う相手を安易に見つけることができ、気軽にコミュニケーションを取ることができる反面、相手は性的な相手を求めている場合もある。

5年度
74件



6年度
118件

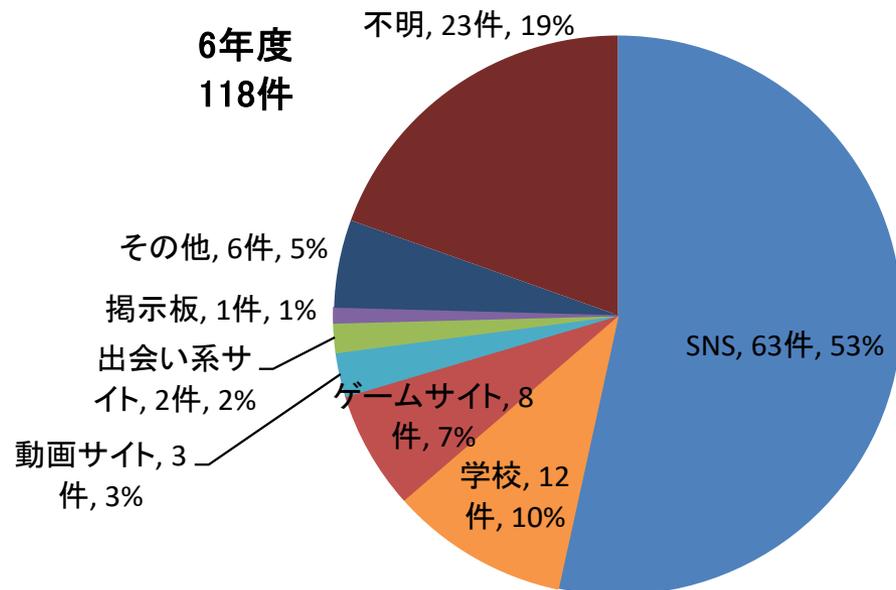
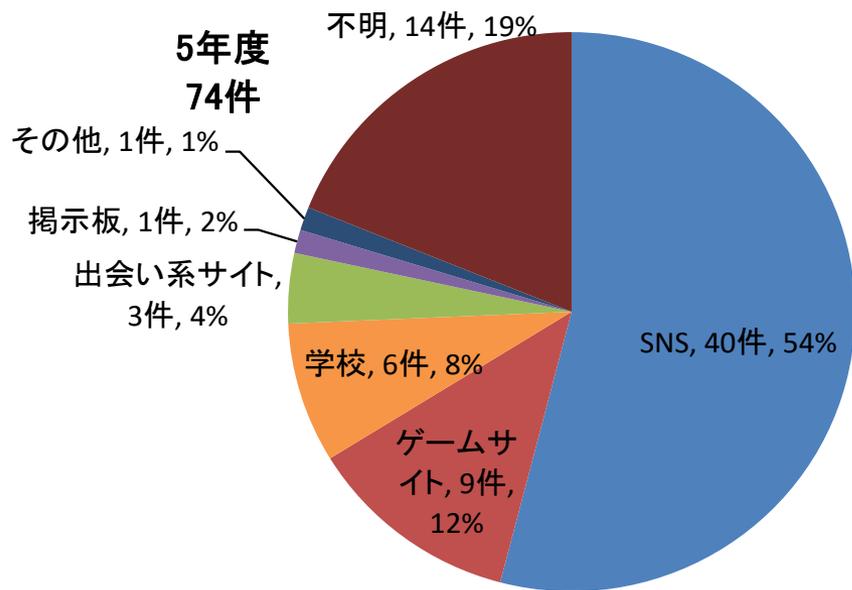


7. 主な相談の概要

(2) 性的トラブル

(ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(5年度との比較)

- 青少年の性的トラブルの相談(118件)において、知り合ったきっかけは、5年度同様にSNS(63件、53%)がもっとも多かった。
- 5年度との比較では、知り合ったきっかけにおいて、5年度にはなかった動画サイト(0件、0%→3件、3%)が増加している。



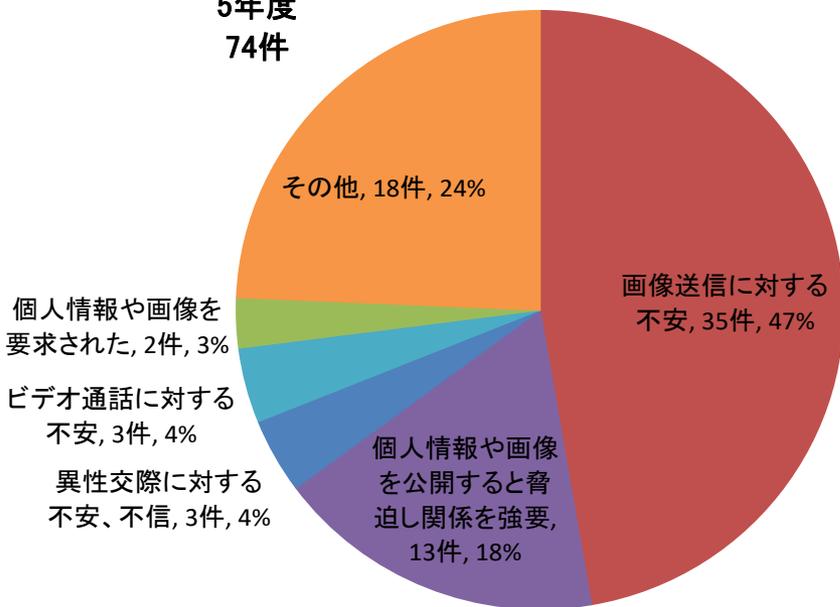
7. 主な相談の概要

(2) 性的トラブル

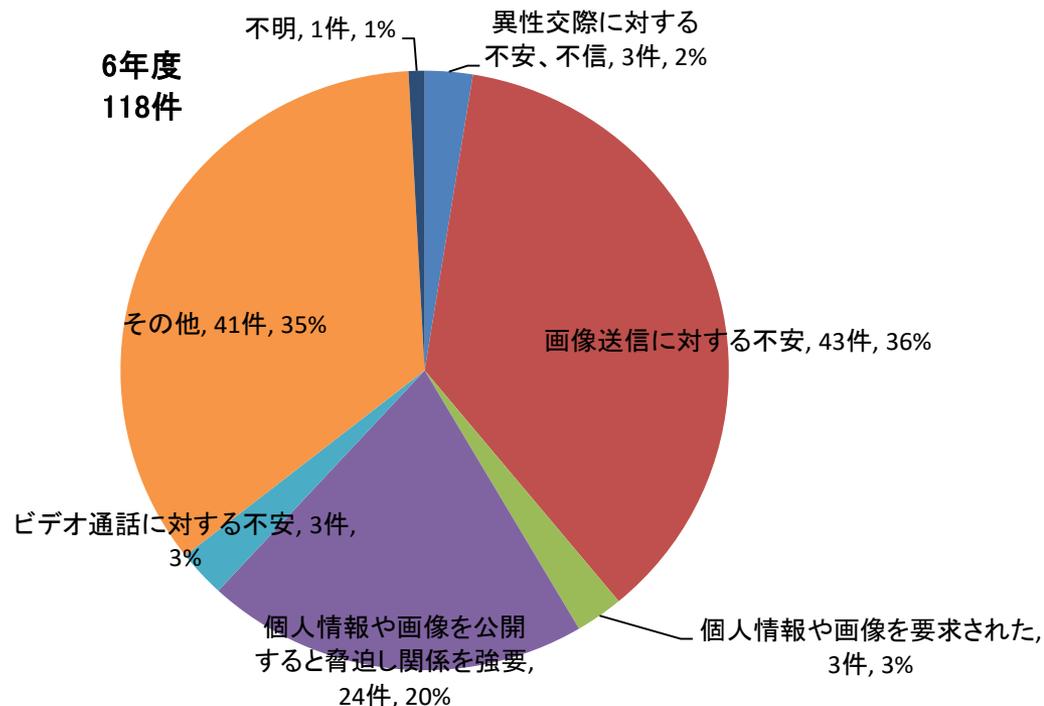
(エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(5年度との比較)

- 6年度の青少年にかかる性的トラブル(118件)を内容別に見ると、5年度同様に画像送信に対する不安(43件、36%)がもっとも多く、次に個人情報や画像を公開すると脅迫し関係を強要(24件、20%)となった。
- 5年度との比較では、その他、不明以外のすべての項目で5年度と件数が同じもしくは増加している。
- その他のトラブルの具体例としては、加害者側の相談(性的な画像を求めた等)、性的な言葉を言われた等であった。

5年度
74件



6年度
118件

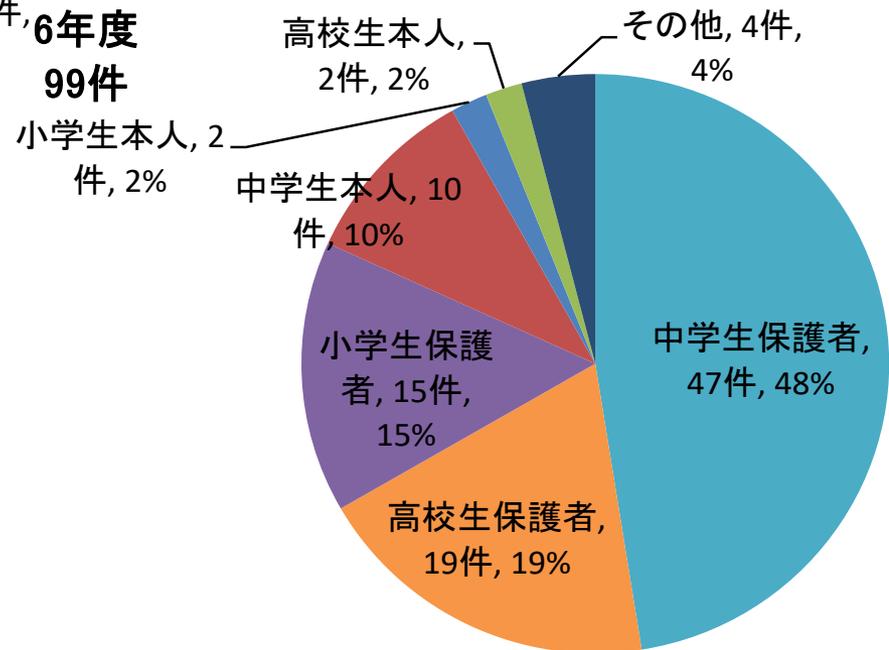
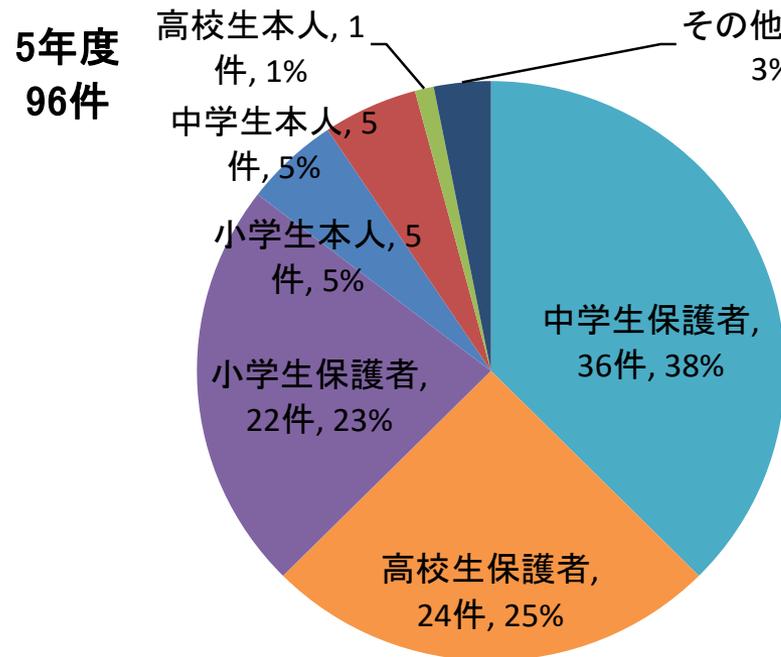


7. 主な相談の概要

(3) 依存

(ア) 青少年にかかる相談・相談者別(5年度との比較)

- 6年度の青少年にかかる依存の相談(99件)は、5年度(96件)と比較すると増加した。
- もっとも多いのが5年度同様に中学生保護者(47件、48%)からの相談であった。
- 6年度の相談のうち、青少年本人からの相談が14件、保護者等からの相談が81件、その他4件となっている。本人以外からの相談が多いのが依存の特徴であり、生活習慣の乱れ、学力の低下、不登校や暴力など、家族が精神的な苦しみを訴える相談が多い。
- 5年度との比較では大きな変化は見られない。



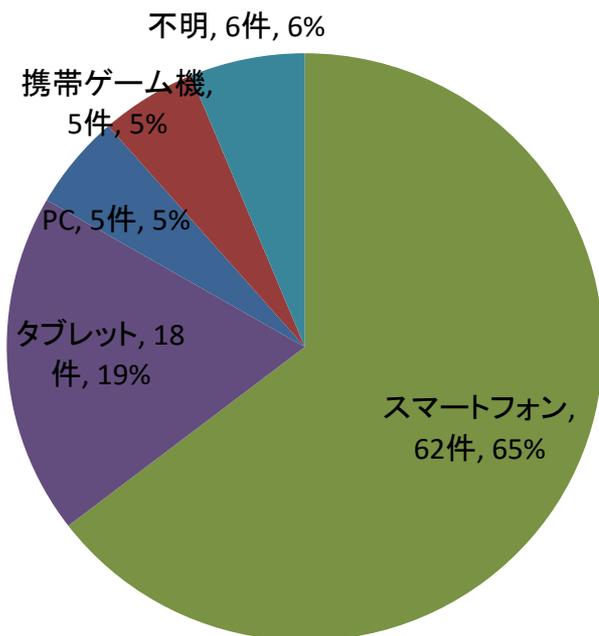
7. 主な相談の概要

(3) 依存

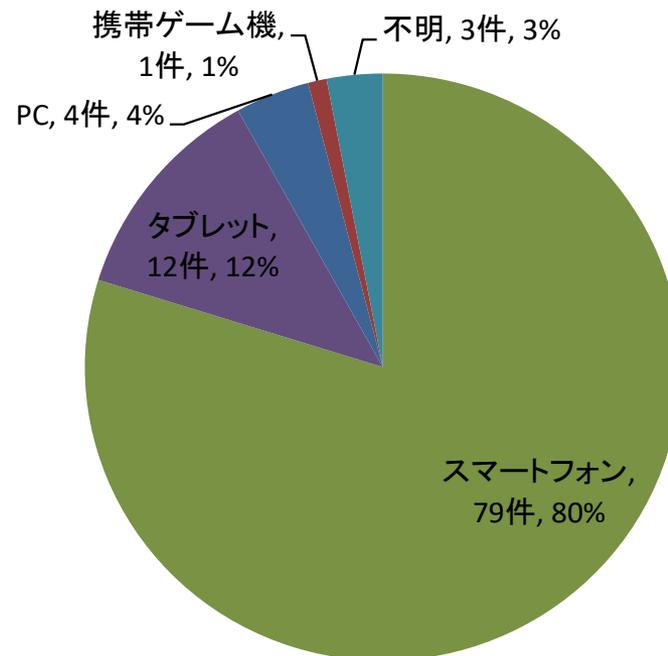
(イ) 青少年にかかる相談・依存している端末別(5年度との比較)

- 依存にかかる端末は、スマートフォン(79件、80%)がもっとも多い。
- 5年度と比較すると、スマートフォン(62件、65%→79件、80%)は件数、割合ともに増加、タブレット(18件、19%→12件、12%)は件数、割合ともに減少している。
- それぞれの端末に備わっている機能は進化し、通信環境も多様化しているため、インターネットに接続できる機器であるならば、利用する青少年の年齢や経験値、生活習慣に合うように機能を制限するなど工夫が必要であり、自室に1人で自由に利用させないようにすることも依存を防ぐ大事なポイントである。

5年度
96件



6年度
99件

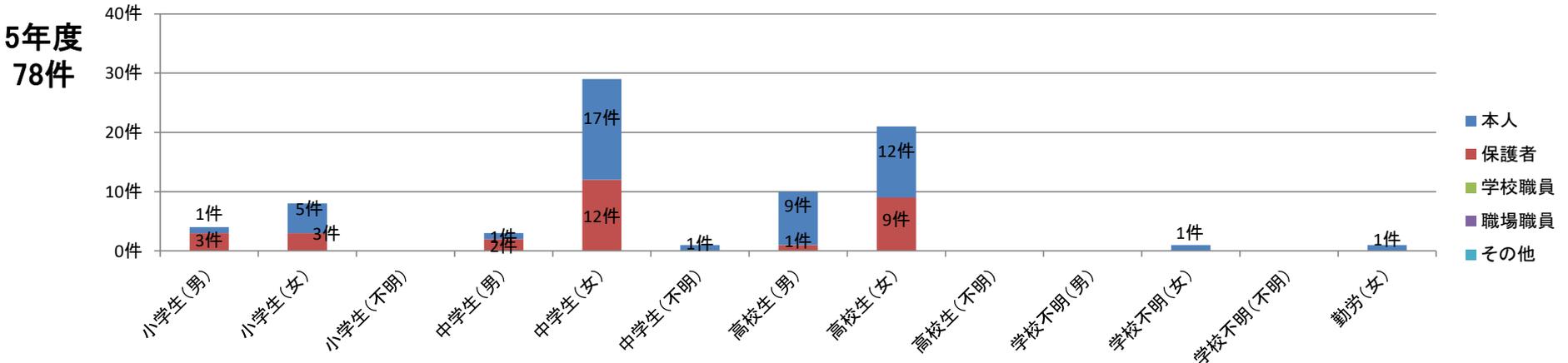
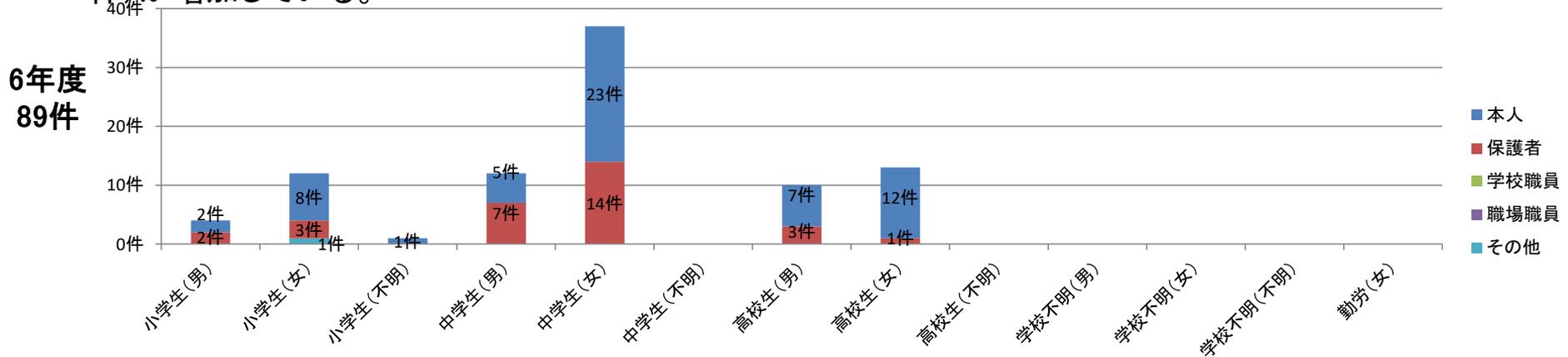


7. 主な相談の概要

(4) 交友関係

(ア) 青少年にかかる相談・当事者別/相談者別(5年度との比較)

- 6年度の青少年にかかる交友関係の相談は89件であった。
- 5年度(78件)同様に当事者は中学生女子(37件)がもっとも多く、次いで高校生女子(13件)であった。
- 男女別比較でも5年度同様に、男子(26件)より圧倒的に女子(62件)が多い。
- 5年度との比較では、主に小学生女子(8件→12件)、中学生男子(3件→12件)、中学生女子(29件→37件)が増加している。



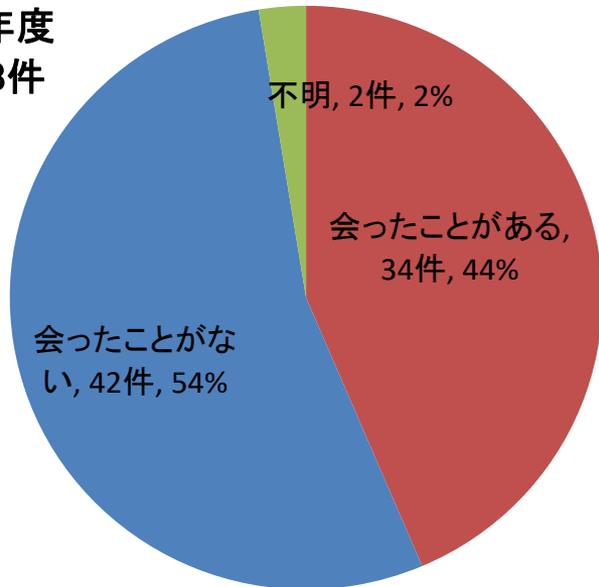
7. 主な相談の概要

(4) 交友関係

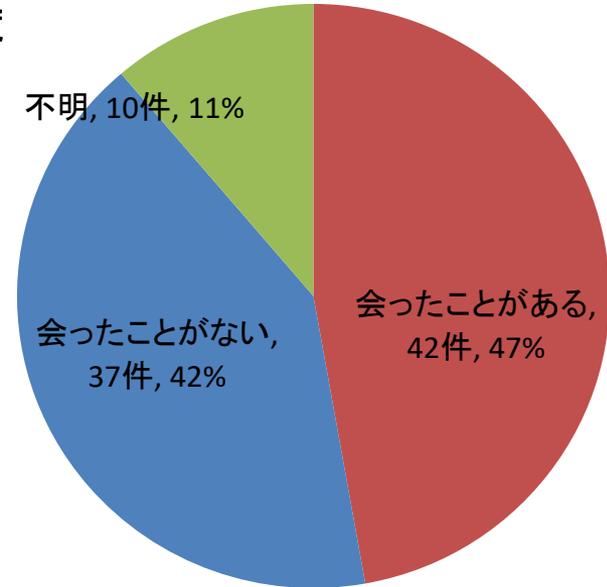
(イ) 青少年にかかる相談・相手と実際に会ったか(5年度との比較)

- 青少年にかかる交友関係(89件)のうち、実際に「相手と会ったことがある」は、42件、47%であった。学校での友人関係も含まれており割合が高くなっている。
- 5年度(78件)との比較では、「相手と会ったことがある」(34件、44%→42件、47%)は、件数、割合ともに増加、「相手と会ったことがない」(42件、54%→37件、42%)が、件数、割合ともに減少している。
- 文字だけのコミュニケーションは意思疎通が難しいが、短文、短時間での返信を急ぐ結果、正しい言葉を選ぶ余裕がなくなり、誤解を招いてしまい、相手との関係性に悩んで相談するケースが多いと考えられる。

5年度
78件



6年度
89件



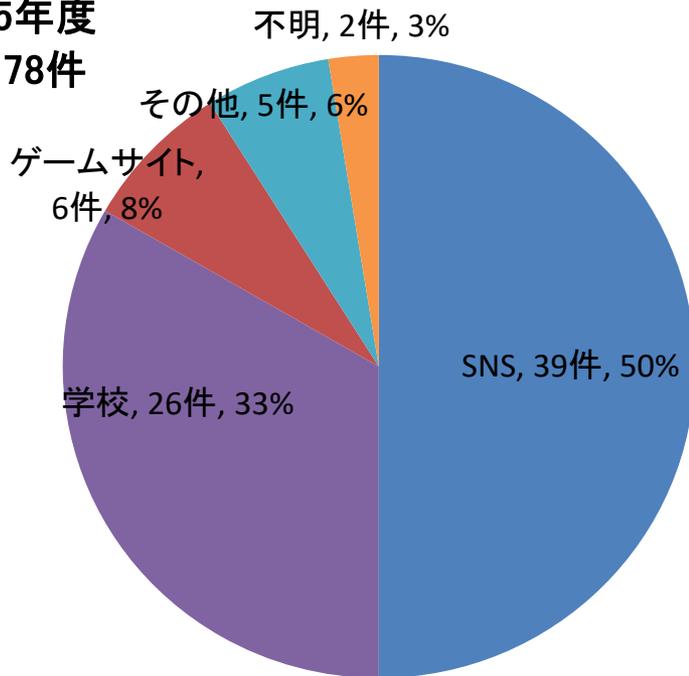
7. 主な相談の概要

(4) 交友関係

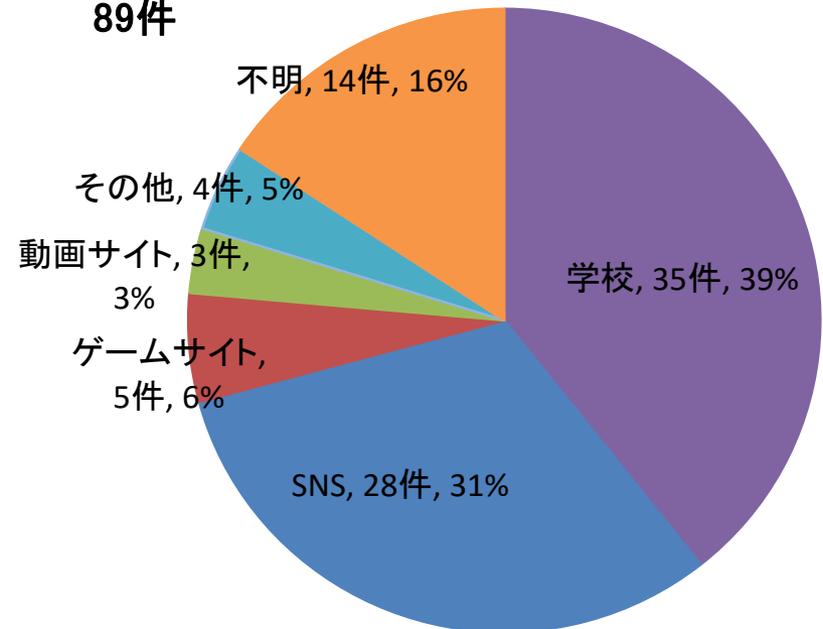
(ウ) 青少年にかかる相談・知り合ったきっかけ(5年度との比較)

- 青少年にかかる交友関係(89件)において、知り合ったきっかけは、学校(35件、39%)がもっとも多く、次にSNS(28件、31%)であった。
- 5年度との比較では、学校(26件、33%→35件、39%)、動画サイト(0件、0%→3件、3%)の件数、割合が増加し、SNS(39件、50%→28件、31%)、ゲームサイト(6件、8%→5件、6%)の割合、件数が減少している。
- 対面でのコミュニケーションが可能である学校の友人関係は解決の手段が複数あるが、インターネット上だけの関係であれば、解決が困難な例も多い。

5年度
78件



6年度
89件



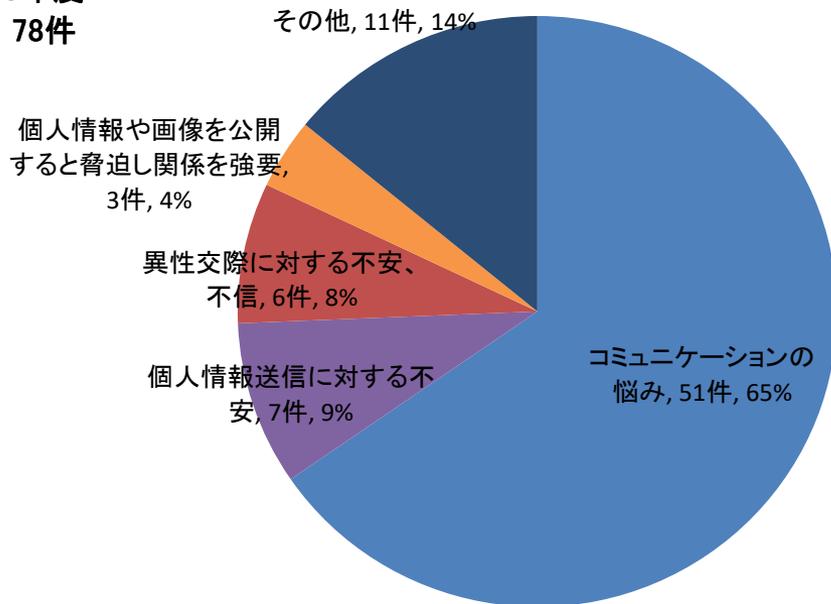
7. 主な相談の概要

(4) 交友関係

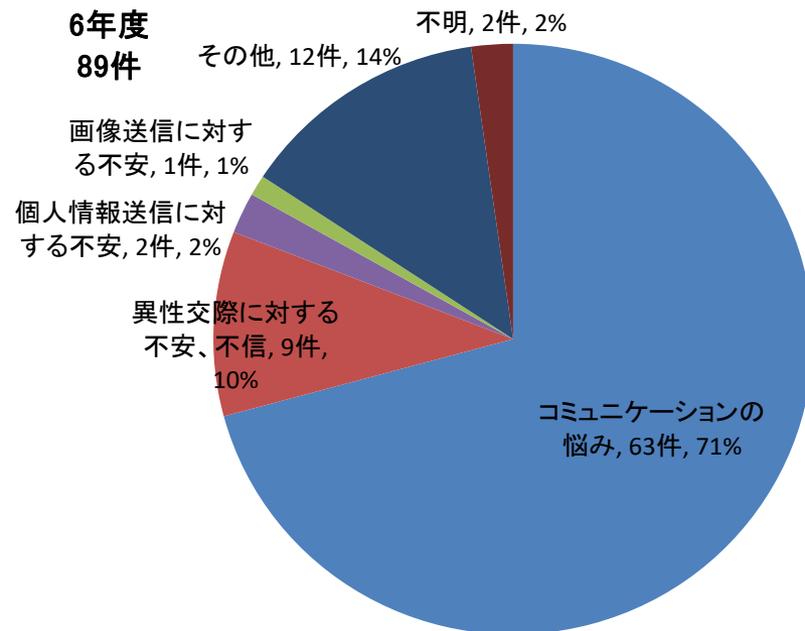
(エ) 青少年にかかる相談・トラブルの内容(5年度との比較)

- 青少年にかかる交友関係(89件)の内容別は、コミュニケーションの悩み(63件、71%)が半数以上を占め、次に、異性交際に対する不安、不信(9件、10%)となった。
- 5年度(78件)との比較では、コミュニケーションの悩み(51件、65% → 63件、71%)、異性交際に対する不安、不信(6件、8% → 9件、10%)、画像送信に対する不安(0件、0% → 1件、1%)の件数、割合が増加し、個人情報送信に対する不安(7件、9% → 2件、2%)、個人情報や画像を公開すると脅迫し関係を強要(3件、4% → 0件、0%)が減少した。
- その他については、特定のサービスを子どもが利用したいと話しているが、利用させて問題がないか等の相談であった。

5年度
78件



6年度
89件

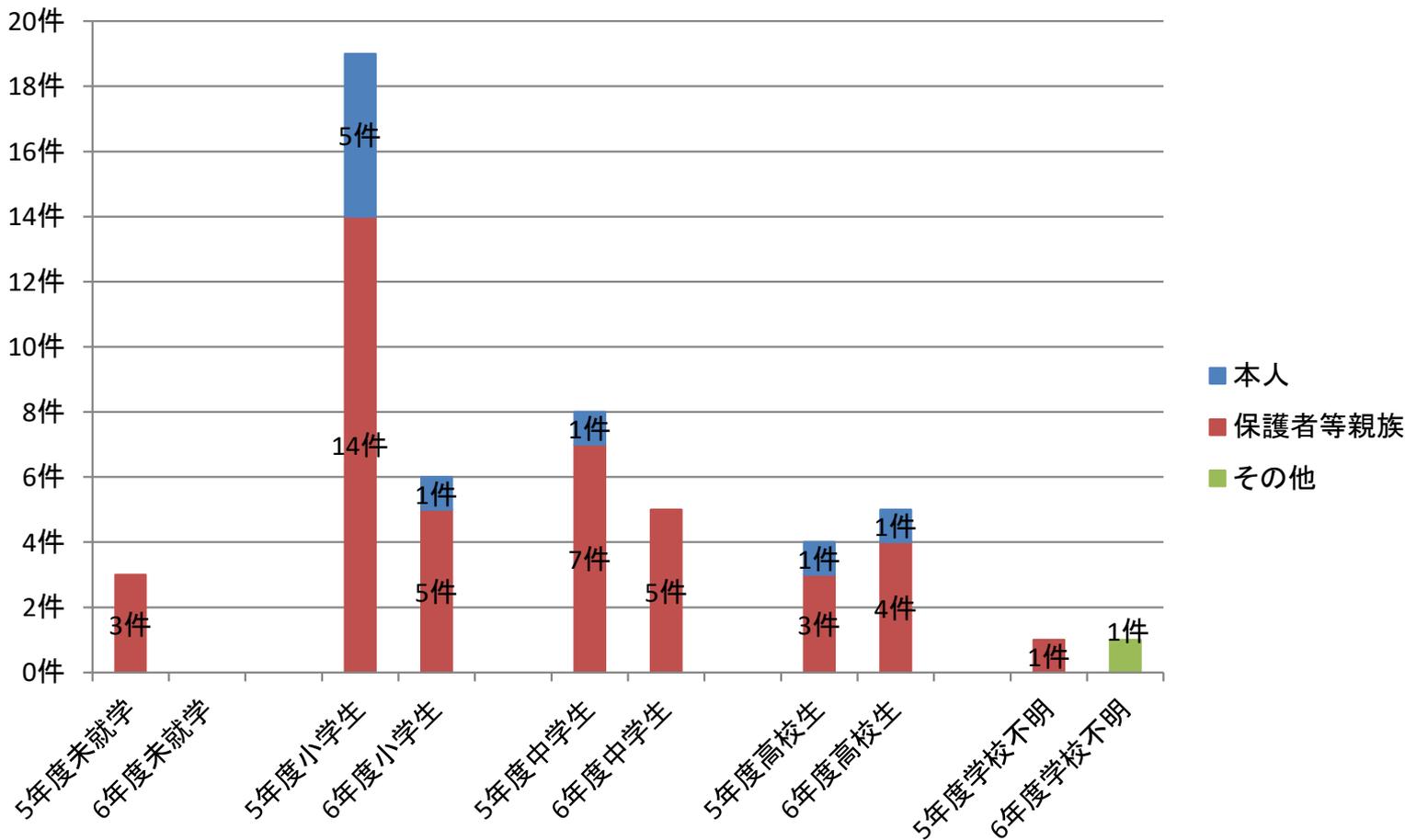


7. 主な相談の概要

(5) 料金関係

(ア) 青少年にかかる相談・相談者別(5年度との比較)

- 6年度(17件)と5年度(35件)の比較では、高校生以外で減少しており特に小学生で減少している。
- 青少年本人からの相談件数(2件)に比べ、保護者等親族からの相談件数(14件)が圧倒的に多いのが特徴である。
- クレジットカード決済、キャリア決済(携帯電話料金と合算して請求)等で知るケースも多く、利用してから時間が経過して発覚する相談が多い。

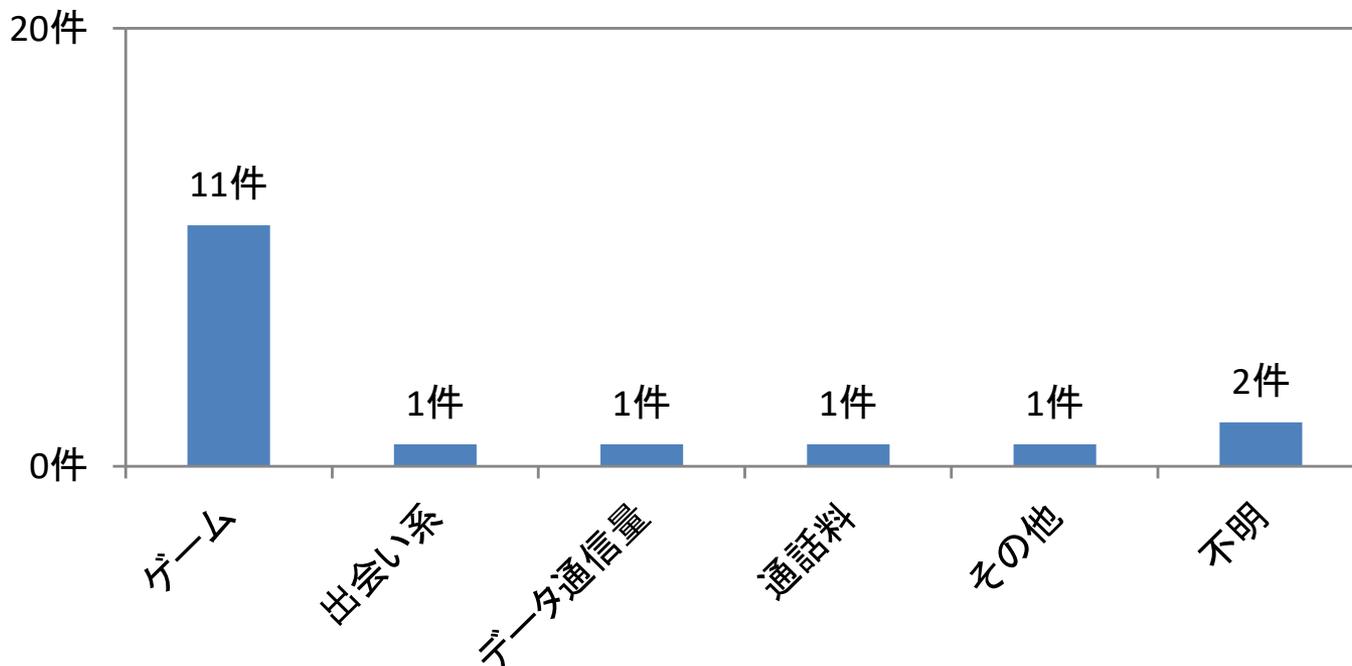


7. 主な相談の概要

(5) 料金関係

(イ) 青少年にかかる相談・課金をしているサービス

- 課金をしたサービスは、ゲーム(11件)が圧倒的に多い。
- 青少年本人が課金をしていることを理解をせずに、利用し続けているケースもある。
- ゲーム内の通貨＝円通貨とは限らないことも多く、実際いくらのか課金をしているのか理解ができていないケースもある。

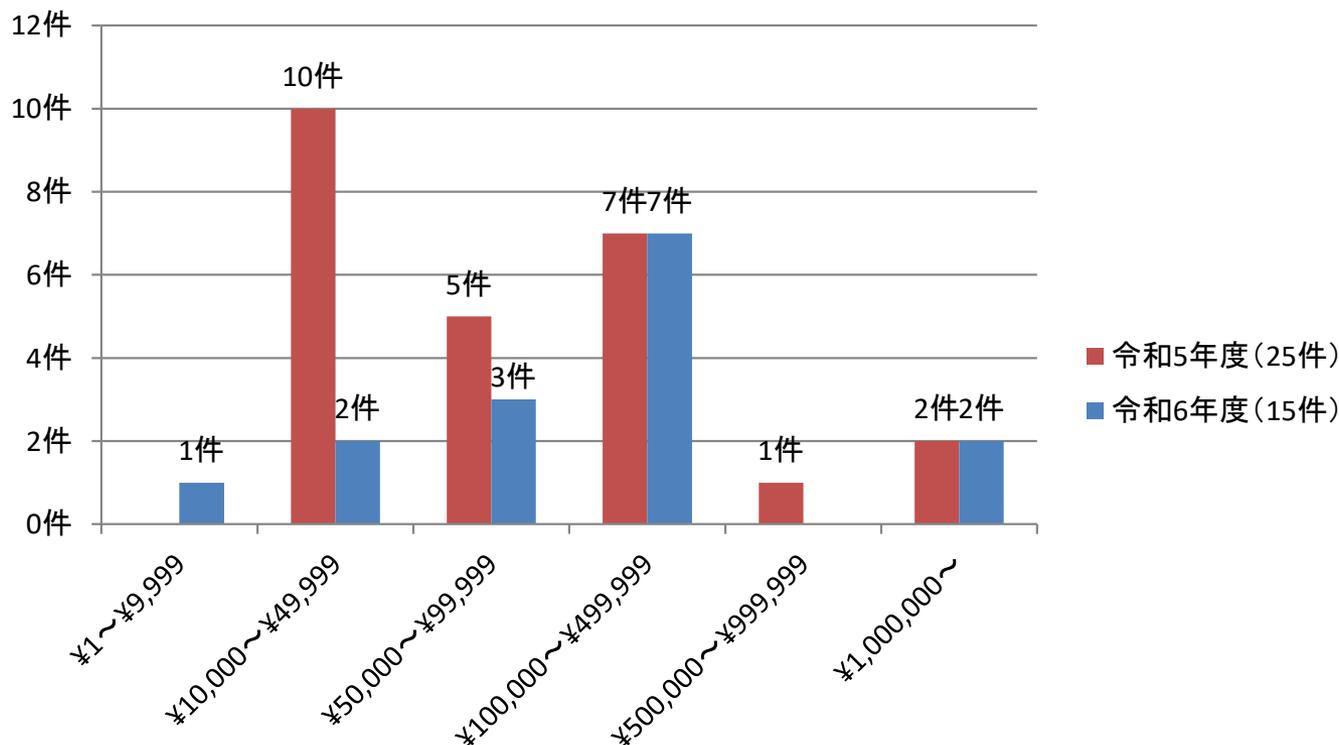


7. 主な相談の概要

(5) 料金関係

(ウ) 青少年にかかる相談・課金額別件数(5年度との比較)

- 青少年にかかる相談のうち、課金額の確認ができた相談(15件)の中で、もっとも件数の多かった課金額は、100,000円～499,999円であった。
- 5年度との比較では100,000円未満を課金をしたケースが減少しているが、1,000,000円以上課金をしたケースは5年度と同数となった。
- 民法の「未成年者取消権」が全てのケースで認められるとは限らないことから、課金の上限額を定め、未成年者がお金を使い過ぎるのを防ぐ仕組みを設けているゲームもあるため、利用するアカウントは正しい年齢での設定をしたり、機器側の機能制限によってアプリ内課金を防ぐ等、機械的に防ぐ方法もあるので課金の制限をしてほしい。

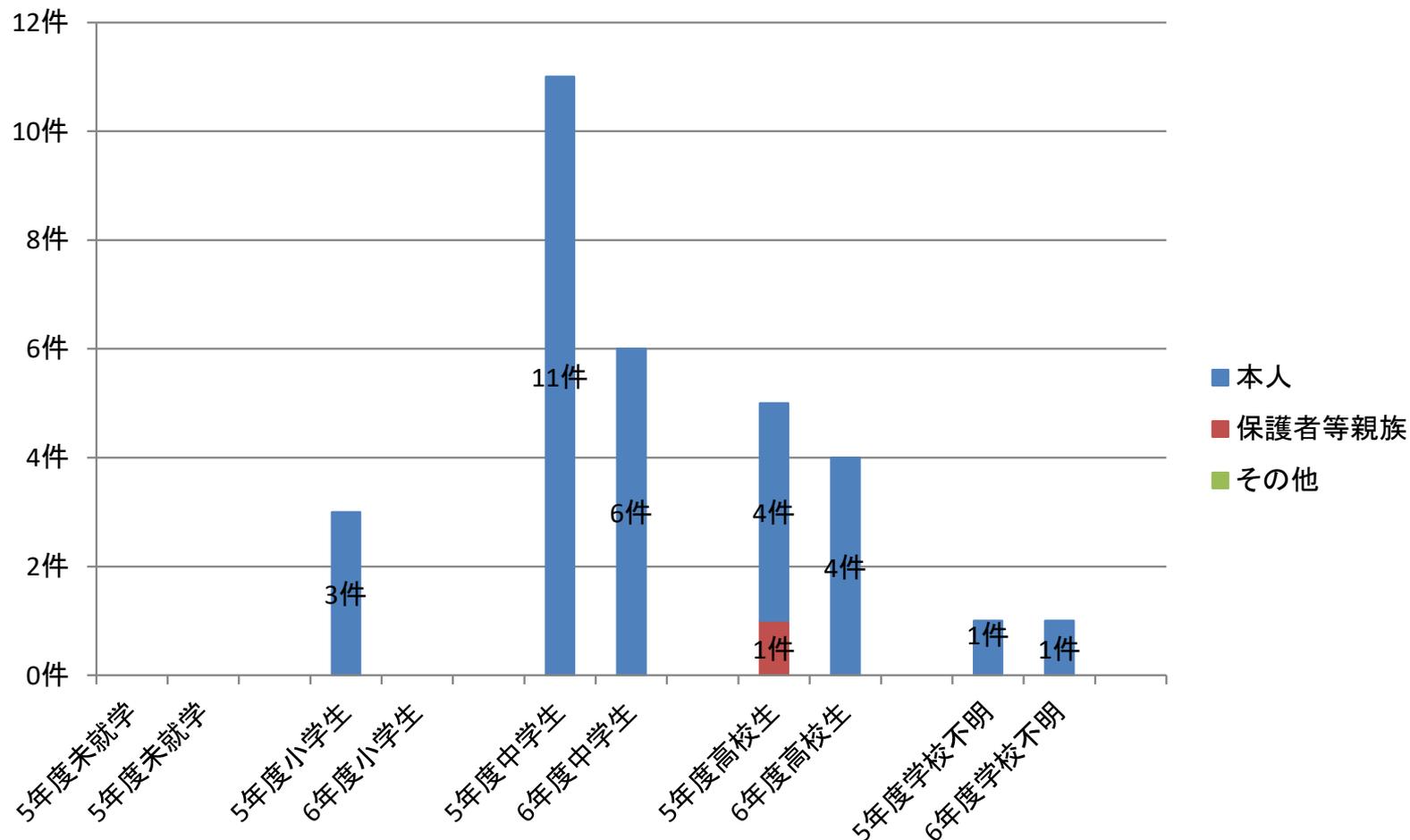


7. 主な相談の概要

(6) 架空請求

(ア) 青少年にかかる相談・学職別/相談者別(5年度との比較)

- 6年度(11件)と5年度(20件)の比較では、すべての学職で減少している。
- 青少年本人からの相談が多いのが架空請求の特徴であり、アダルトサイトを閲覧してのトラブルが多い。6年度はすべて青少年本人からの相談であった。親には相談できない、知られたくないと話す青少年が多くいる。

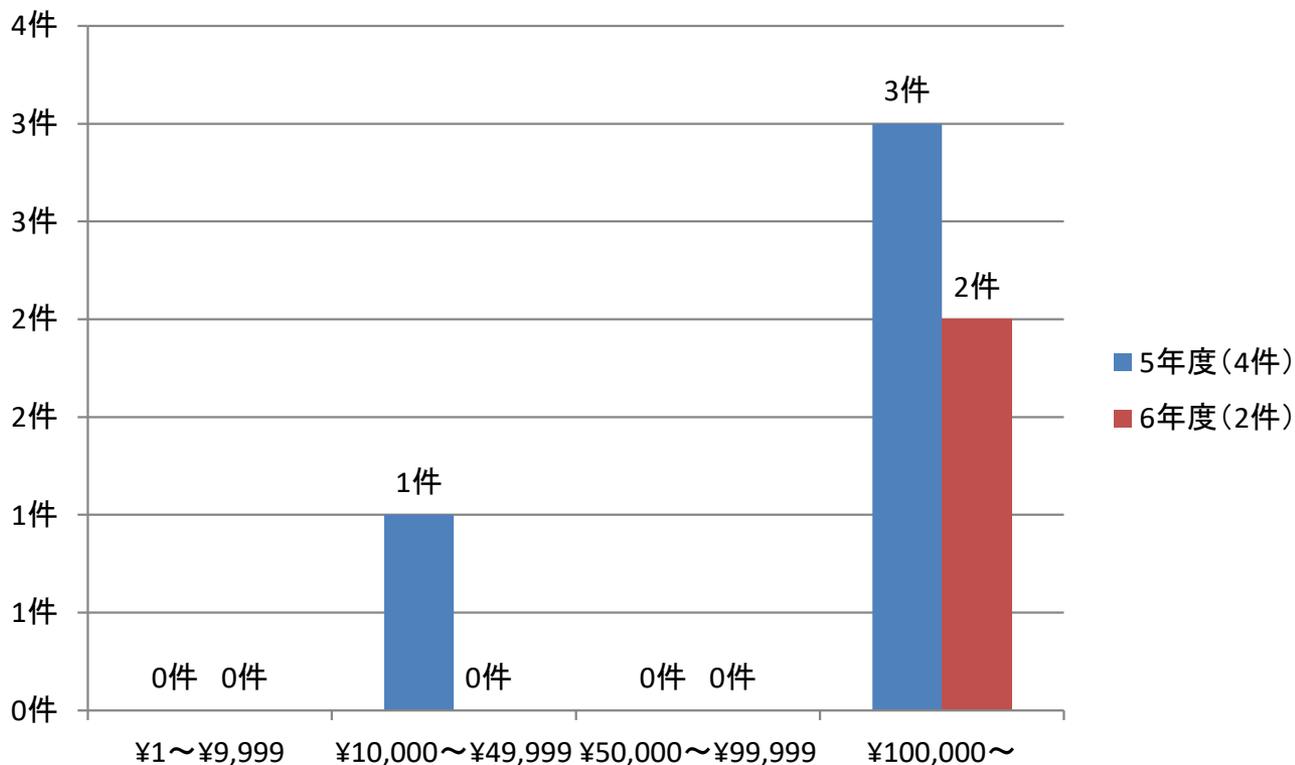


7. 主な相談の概要

(6) 架空請求

(イ) 青少年にかかる相談・請求金額別件数(5年度との比較)

- 青少年にかかる相談のうち、請求された金額の聞き取りができた相談のうち、6年度(2件)は全て100,000円以上請求された相談だった。
- 支払いの期限が数日、数時間と限定され、払わなければもっと高額になると書かれているサイトも多く、考える隙を与えないよう利用者を焦らせる手口と思われる。
- 少額を請求された相談は5年度同様に少ない。

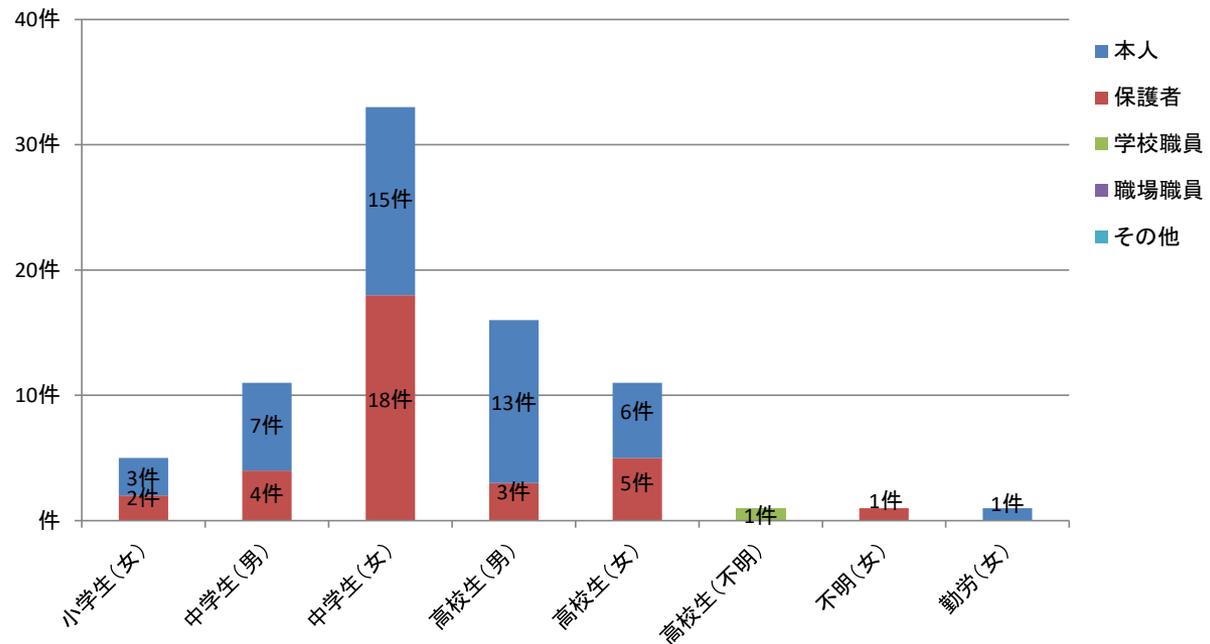
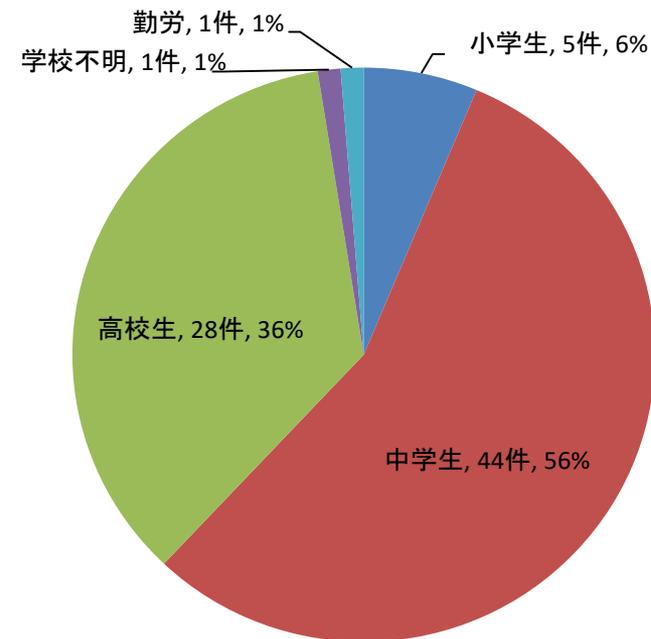


7. 主な相談の概要

(7) 自画撮り被害

(ア) 青少年にかかる相談・相談者別、男女別件数

- 青少年にかかる相談(910件)のうち、青少年自身の性的な画像・映像に関する相談は79件。
- トラブルにあった当事者のうちもっとも多かったのは中学生(44件、56%)、次いで高校生(28件、36%)、小学生(5件、6%)であった。
- 相談者別・男女別では、中学生女子の保護者からがもっとも多く(18件)、次いで中学生女子本人から(15件)、高校生男子本人から(13件)であった。

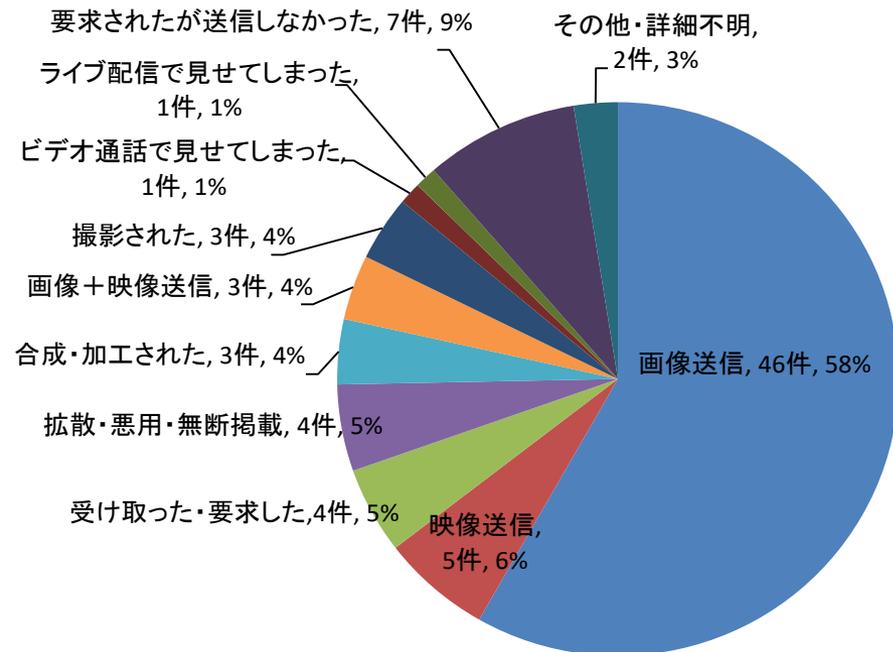


7. 主な相談の概要

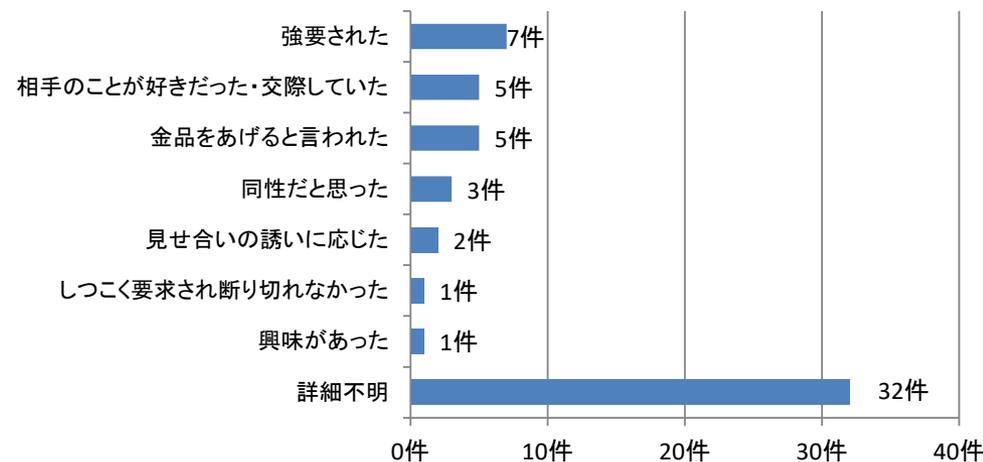
(7) 自画撮り被害

(イ) 青少年にかかる相談・相談内容

- 青少年の性的画像・映像トラブル(79件)のうち、画像送信(46件、58%)がもっとも多く5割以上を占めた。次に多いのは、映像送信(5件、6%)、「受け取った・要求した」・「拡散・悪用・無断掲載」(4件、5%)であった。
- 実際に自画撮りを送信している相談(画像送信、映像送信、画像+映像送信、ビデオ通話、ライブ配信)は56件。このうち、送信してしまった理由としてもっとも多かったのは「強要された」(7件)であった。次いで、「相手のことが好きだった・交際していた」・「金品をあげると言われた」(5件)と続いた。



送ってしまった理由

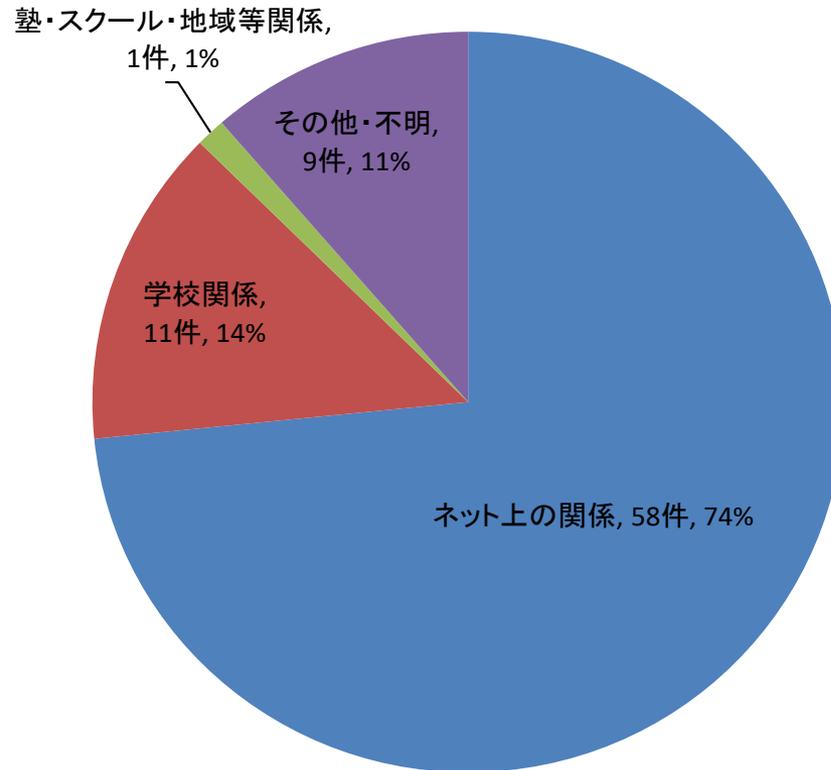


7. 主な相談の概要

(7) 自画撮り被害

(ウ) 青少年にかかる相談・トラブルの相手

- 青少年の性的画像・映像トラブル(79件)の相手は、インターネットで知り合った相手(58件、74%)が最も多い。
- トラブルの相手は、学校関係や塾の知り合いなど、身近な相手との間にも起きている。相手が誰であっても自分自身の性的な画像や映像を送らないこと、撮影しないこと、撮影させないことが大事である。

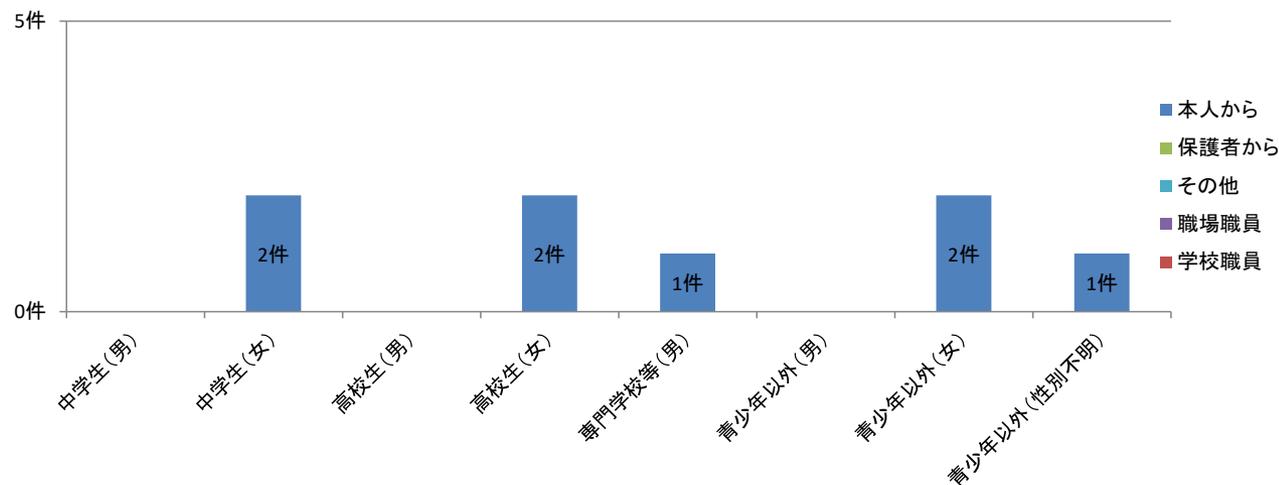
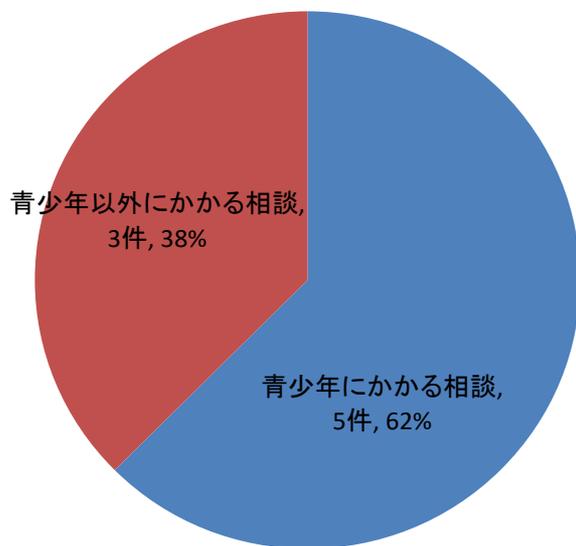


7. 主な相談の概要

(8) パパ活トラブル

(ア) 相談者別、男女別件数

- 6年度、パパ活でのトラブル相談は8件であり、年々、減少傾向にある。
- 青少年にかかる相談は5件、青少年以外にかかる相談は3件だった。
- 相談者の内訳は、青少年本人(女子)からが4件、次いで青少年以外(女子)からが2件であった。



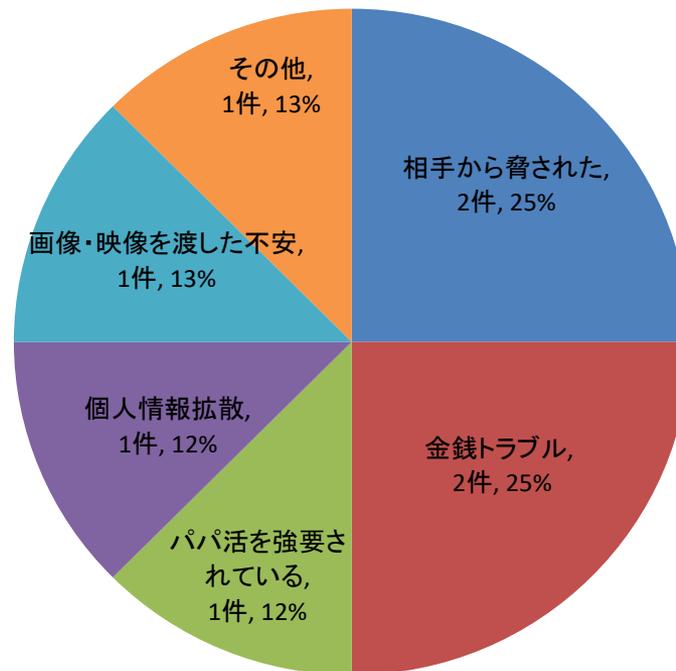
7. 主な相談の概要

(8) パパ活トラブル

(イ) トラブルの内容



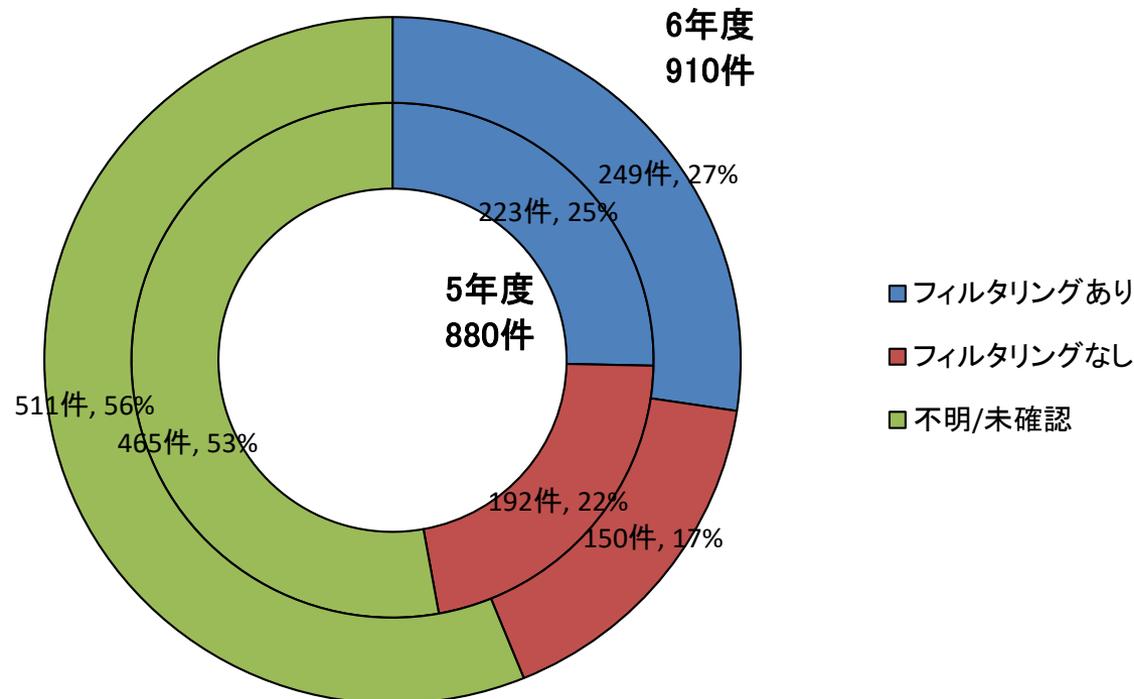
- パパ活トラブル(8件)の主な内容は、「相手から脅された」・「金銭トラブル」(2件、25%)であった。その他、「パパ活を強要されている」・「個人情報拡散」・「画像・映像を渡した不安」(1件、13%)となった。



8. フィルタリング

(1) 青少年にかかる相談・利用状況(5年度との比較)

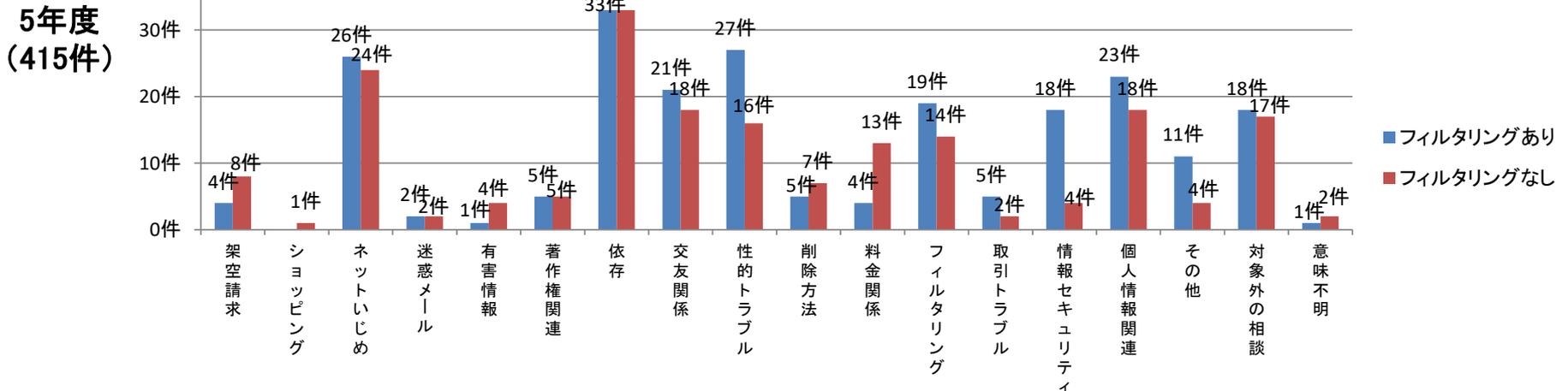
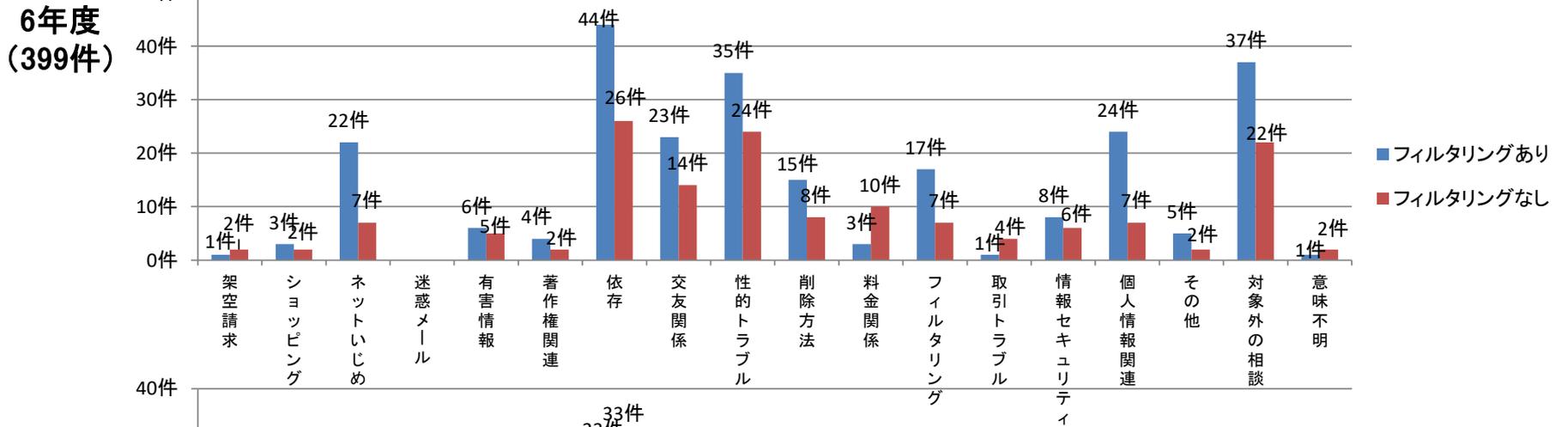
- 6年度の青少年にかかる相談(910件)のフィルタリング加入の有無について、5年度(880件)との比較では、フィルタリングあり(223件、25%→249件、27%)では、件数、割合ともに増加した。フィルタリングなし(192件、22%→150件、17%)の回答は件数、割合ともに減少した。
- フィルタリングを利用しているかどうか不明/未確認の相談者(465件、53%→511件、56%)は、5年度同様に多く、割合、件数ともに増加している。



8. フィルタリング

(2) 青少年にかかる相談・内容別(5年度との比較)

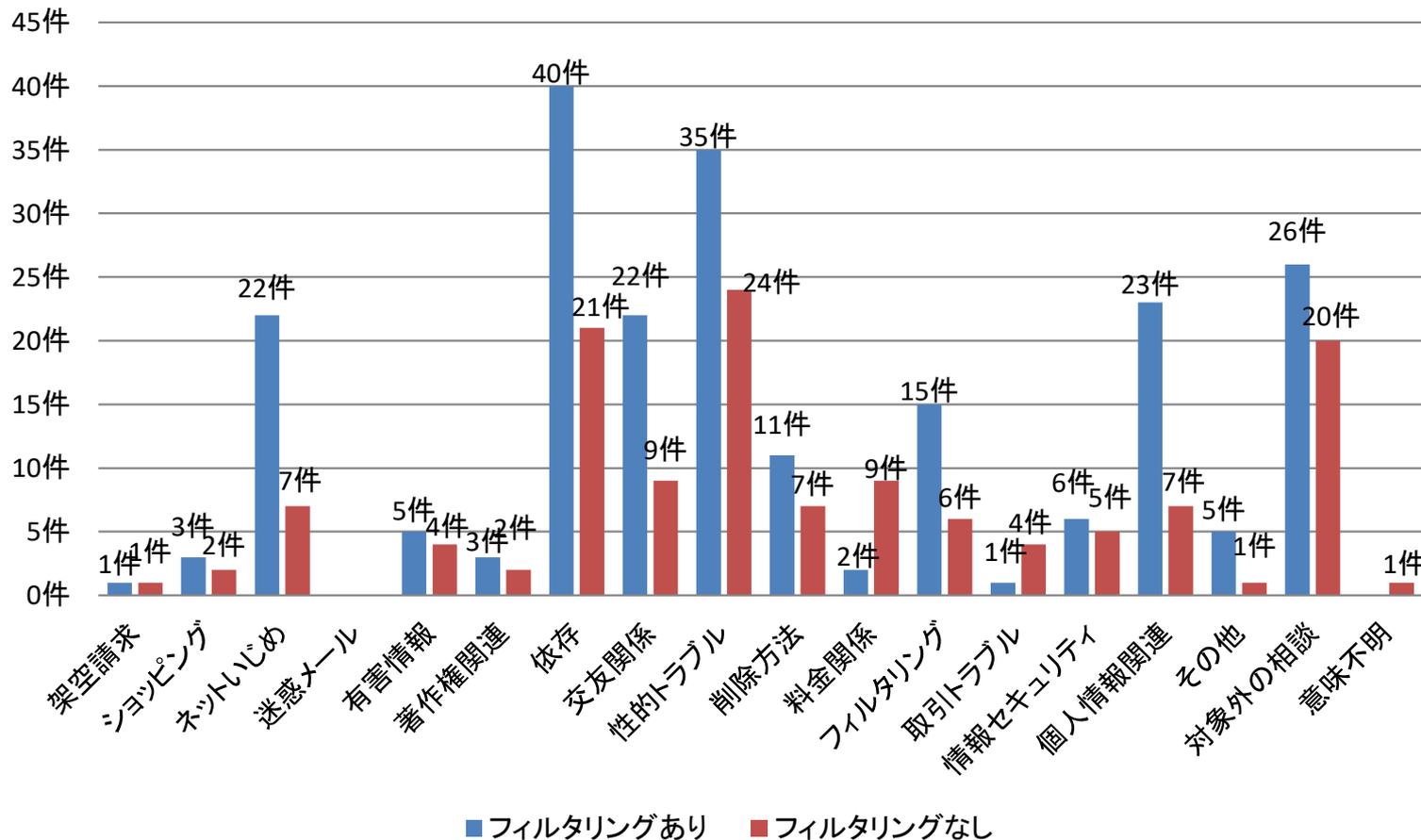
- フィルタリングの有無について回答があった399件(あり:249件、なし:150件)の相談内容内訳は、下記のとおり。
- フィルタリングの利用について「あり」と回答をしても、フィルタリングを利用していれば防げたと思われる依存、性的トラブル、交友関係などの相談は多い。(SNSなどはフィルタリングが有効であれば利用できないため)



8. フィルタリング

(3) 青少年にかかる相談・内容別/携帯電話等

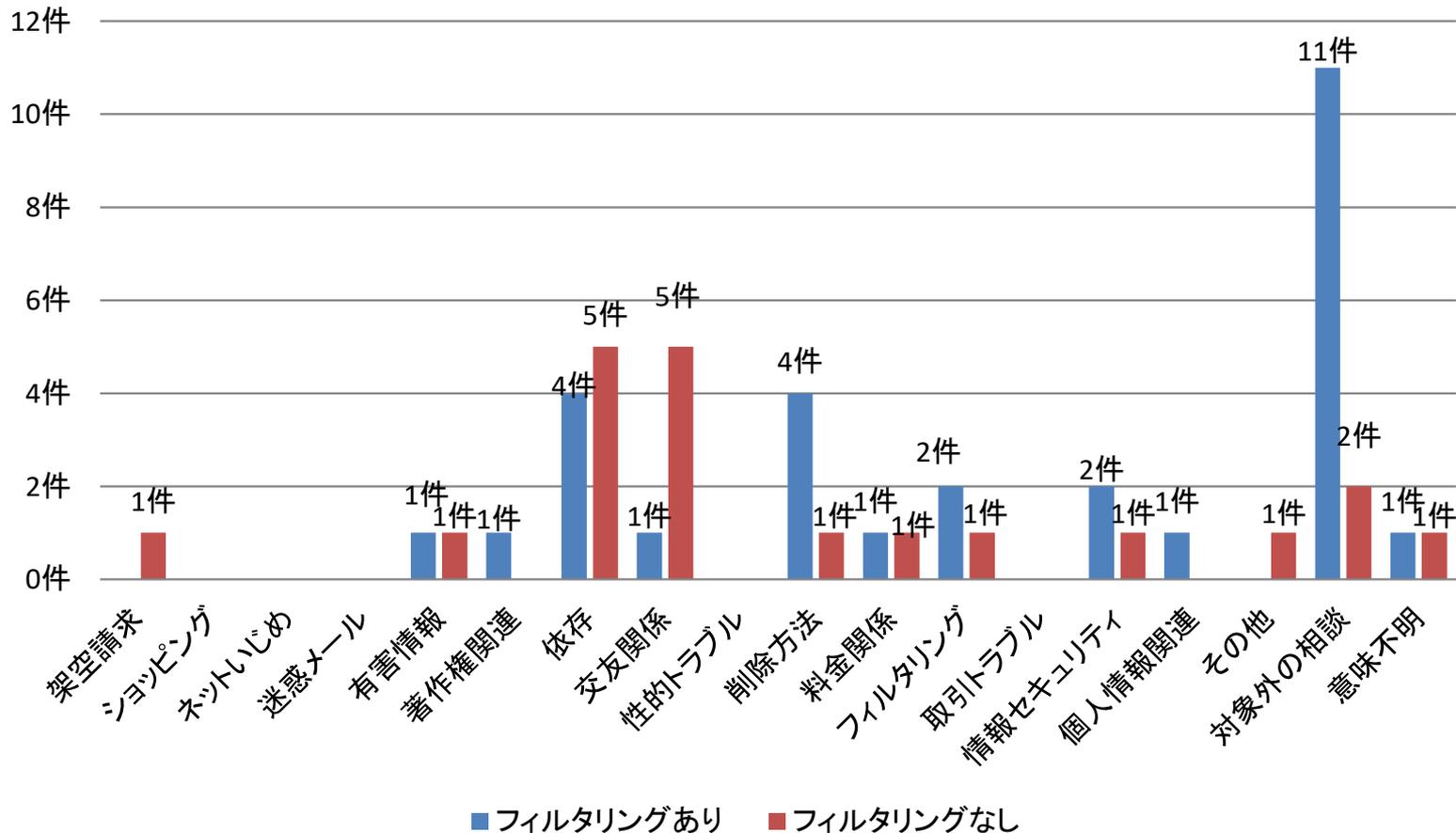
- フィルタリングの有無について回答があった399件のうち、携帯電話等を使用した相談は350件（あり:220件、なし:130件）。
 - フィルタリングあり・なしともに依存、性的トラブルに関する相談が多い。
- ※携帯電話等には、携帯電話の他に、スマートフォン、PHSが含まれる。



8. フィルタリング

(4) 青少年にかかる相談・内容別/PC等

- フィルタリングの有無について回答があった399件のうち、PC等を使用した相談は49件（あり：29件、なし：20件）。
 - フィルタリングあり・なしともに依存に関する相談がもっとも多い。
- ※PC等には、パソコンの他に、タブレット、デジタルオーディオプレーヤー、ゲーム機などが含まれる。

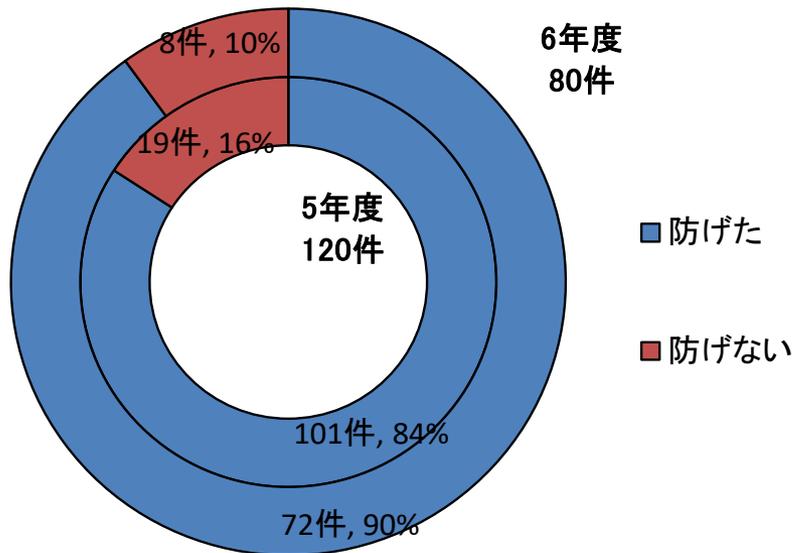


8. フィルタリング

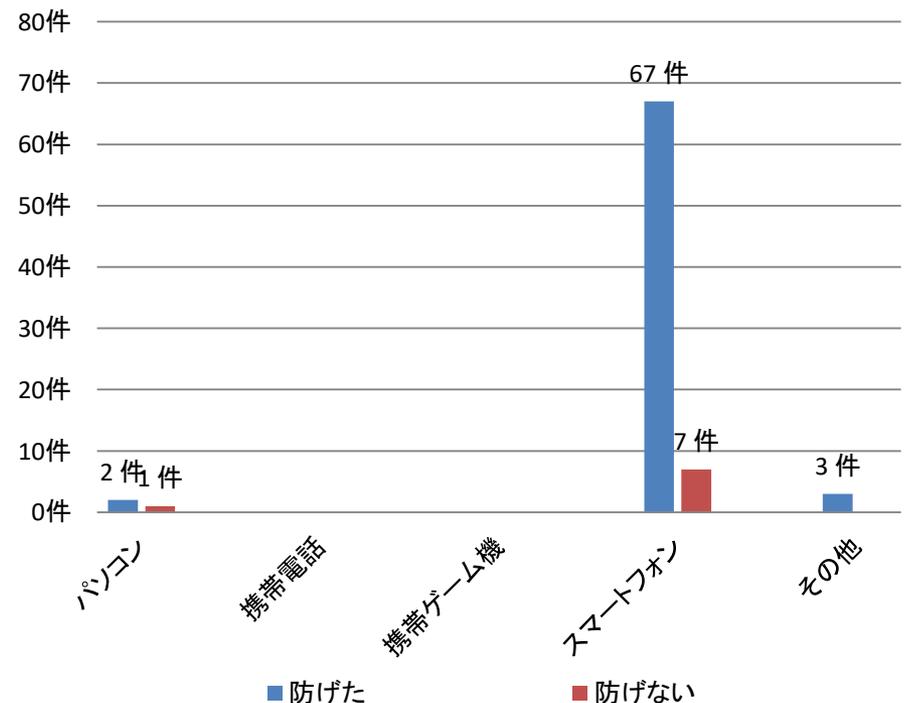
(5) 青少年にかかる相談・防げたか(5年度との比較)

- フィルタリングを利用していない相談者からの相談のうち、原因となっているサイトの名称やURLが分かっている相談(80件)について分析した結果、フィルタリングを利用していれば防ぐことができた可能性のある相談の件数は72件、90%で、5年度の101件、84%と比較すると件数は減少しているが割合が増加している。

※「防げた」「防げない」は一律に判断はできないが、原因となっているサイトの名称やURLが、フィルタリング事業者から携帯電話会社へ提供されるデータベースにおいて、どのようなカテゴリに分類されて登録されているかに基づいて判断した。



フィルタリングに加入していれば防げたか



9. 考察

(1)-1 件数の多い相談の考察

相談全体(2,308件)における、相談件数の多い上位3項目の相談内容について

■ 情報セキュリティ 284件(12%)

情報セキュリティに関する相談は5年度よりも2倍以上増加した。

トラブルの内容は、大手企業や官公庁を装う偽サイトで個人情報などを入力させられてしまうフィッシング詐欺、SNSへの不正アクセスや乗っ取り、インターネットの閲覧中にウイルス感染の警告が表示されるなどであり、大人でも対処に迷うトラブルも多い。

SNSの乗っ取りでは、知人を名乗るアカウントからDM(ダイレクトメッセージ)が届き、相手に頼まれて電話番号などを送ったことでパスワードを再設定されてしまったという手口が急増した。

不正アクセスや乗っ取りの多くは、パスワードを知られないように対策することで防ぐことができるため、パスワード管理が重要であり、名前と誕生日の組み合わせのような推測されやすいものは避けること、同じパスワードを複数のサービスで使い回さないことや、二段階認証を利用するように注意を呼びかけた。

■ 個人情報関連 142件(6%)

インターネットを利用している中で起きた、個人情報の取り扱いに関するトラブルや心配事の相談が前年度よりも約10%増加した。

SNSやオンラインゲームで知り合った人に名前、住所、メールアドレス、電話番号、顔写真など個人の特定につながる情報を教えてしまい、インターネット上で悪用された被害や、トラブルには発展していなくても不安になったという相談が多く寄せられた。

顔写真や個人情報を無断で投稿されたトラブルでは、投稿した相手や投稿された場所に応じて削除依頼方法を助言した。

インターネット上で知り合った相手に一度でも個人情報を教えてしまうと、その情報がどのように使われるのかは相手次第になり、対処法が見えないまま不安を抱えてしまうことになるため、自分の情報を誰にどこまで伝えて良いのか、SNSに載せる内容も含めてルールを決めるなど、自分の情報は自分自身で守る大切さを理解してもらえるように努めた。

9. 考察

(1)-2 件数の多い相談の考察

■ 性的トラブル 141件(6%)

相談全体に占める割合は141件、6%だが、このうち青少年にかかる相談が118件であり8割以上を占めている。

その中でももっとも多いのは「自画撮り被害」と言われている青少年自身の性的な画像・映像に関する相談であり79件だった。

お金をあげるなどと言い性的な自画撮りを送信させたり、親切な人を装って近づいてくるなど、青少年の心理を巧みに利用した「グルーミング」と呼ばれる手口での被害の事例も多い。

18歳未満の青少年の性的な自画撮りについては、児童ポルノ禁止法、「東京都青少年の健全な育成に関する条例」で厳しく規制されていることから、性的な自画撮りを送っていることで自分を責めてしまう青少年も多いが、このようなトラブルでは青少年は被害者であり、警察へ相談することを強く勧めるとともに警察への相談をためらう相談者には、匿名で相談ができる性犯罪被害相談窓口も案内した。

多くのSNSがメッセージ機能に加えて、音声通話やビデオ通話の機能を備えており、知らない人との性的な会話やビデオ通話が気軽にできるようになった。

写真や映像を自分から送っていなくても、録画・録音によって相手の手元に保存され流出するリスクがあることを説明し、気が合うと感じた相手に対しても、性的なやり取りは冷静になって断ることが大事だと助言した。

9. 考察

(2) 青少年の学職別の考察

■ まとめ

青少年にかかる相談が910件であり5年度(880件)と比べ30件、約3%増加したが、小学生(189件)については10%ほど減少した。中学生(406件)は5%増加、高校生(268件)は10%増加となった。

トラブルにあった青少年の使用端末は、スマートフォンの割合が5年度よりもわずかに増加し69%であった(小学生43%、中学生77%、高校生79%)。

スマートフォンに比べると、PC(7%)はごくわずかだが5年度よりも増加した。

これには、GIGAスクール端末として利用されているPCに関する相談も含まれており、学習端末の利用状況を家庭で管理することについての保護者の悩みや不安の相談が増えたことを反映している。

従来の携帯電話(0.5%)は年々減少し、極端に少ない。

その他の端末(タブレット、回線契約無しスマートフォン、デジタルオーディオプレーヤー等)はわずかに減少した(6%)。

5年度は増加傾向にあった小学生にかかる相談(189件)は、6年度はやや減少した。

その中でも依存(17件、9%)は5年度と同様にもっとも多いが(対象外の相談を除く)が、5年度と比べ減少したほか、フィルタリング関係(7件、4%)、料金関係(6件、3%)など保護者からの相談に多い項目が減少傾向にある。

依存と共にもっとも多かった交友関係(17件、9%)は、5年度よりも増加した。

一方、中学生にかかる相談(406件)、高校生にかかる相談(268件)は増加した。

中学生では性的トラブル(69件、17%)がもっとも多く、依存(57件、14%)、交友関係(49件、12%)と続き(対象外の相談を除く)、共に5年度よりも増加した。

高校生においても性的トラブル(37件、14%)がもっとも多く、交友関係(23件、9%)、依存・削除方法(21件、8%)と続いた(対象外の相談を除く)。

その他、ネットいじめの相談が小中高のすべての学職別で上位にあり、本人からも保護者からも相談が多く寄せられた。

特にSNS上での顔写真の無断掲載・加工、ライブ配信中のコメントによる攻撃など、新しい技術やサービスがいじめの手段に使われている例も見られ、今後も増加する可能性がある。